

環境政策部

【一般会計】

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	18	項目番号	2(1)ほか
事務事業名	環境審議会運営経費								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

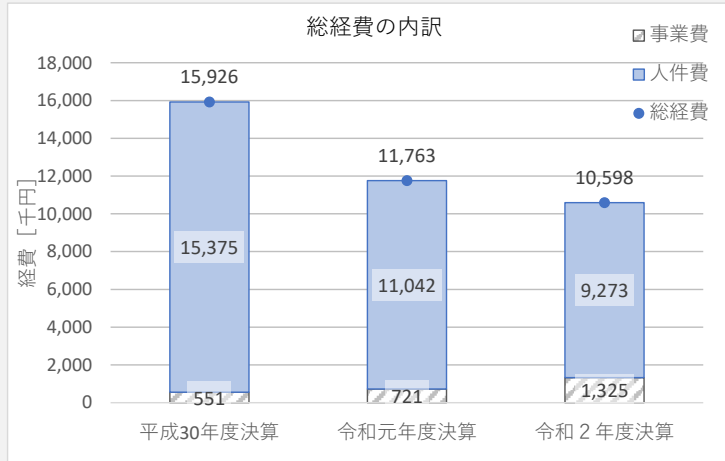
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	市長の諮問機関として設置している「横須賀市環境審議会」を運営し、環境の保全及び創造に関する基本的事項等の調査審議を実施する						分野別計画	環境基本計画
具体的な事業内容	「環境基本条例」の改正、「新環境基本計画」の策定に関する審議の実施 「みどりの基本条例」改正、「みどりの基本計画」中間見直し、「新地球温暖化対策実行計画」策定、「脱炭素関連条例」制定に関する審議の実施							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	551	721	1,325	1,756	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	2.0	1.5	1.3	1.3	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	15,375	11,042	9,273	9,202	千円
総経費（a + b）	15,926	11,763	10,598	10,958	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
環境審議会の開催 環境の保全及び創造に関する基本的事項等を調査審議するため、審議会を開催する 環境審議会：3回、延39人出席	環境審議会の開催 環境の保全及び創造に関する基本的事項等を調査審議するため、審議会を開催する 環境審議会：2回、延30人出席 みどり政策推進部会：1回、8人出席 温暖化対策推進部会：1回、8人出席	環境審議会の開催 環境の保全及び創造に関する基本的事項等を調査審議するため、審議会を開催する 環境審議会：3回、延49人出席 みどり政策推進部会：3回、延33人出席 温暖化対策推進部会：2回、延20人出席

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

・令和元年10月に開催した環境審議会において「環境基本条例」「みどりの基本条例」改正にかかる諮問、「環境基本計画」「地球温暖化対策実行計画」策定、及び「みどりの基本計画」中間見直しにかかる諮問を行った。
 ・令和3年3月に開催した環境審議会において「脱炭素関連条例」制定にかかる諮問を行った。
 ・審議事項が増加したため、会議開催回数・出席員数が増加し、経費が増加した。
 ・令和元年度は欠員が1人生じたため、また、令和2年度から新計画策定にかかる業務委託を行ったため、職員数を振り分けたことにより、会議開催数の増など業務量は増加したにもかかわらず人件費が減ったことになり、総経費が減少した。

今後の事業の方向性

・令和3年9月に開催する環境審議会をもって、諮問事項に関する審議が終了する予定。
 ・以降、部会は常設せず、諮問事項等に応じて必要が生じた際に設置することとし、審議会運営の効率化を図る。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	18	項目番号	2(2)
事務事業名	環境基本計画進行管理事業								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

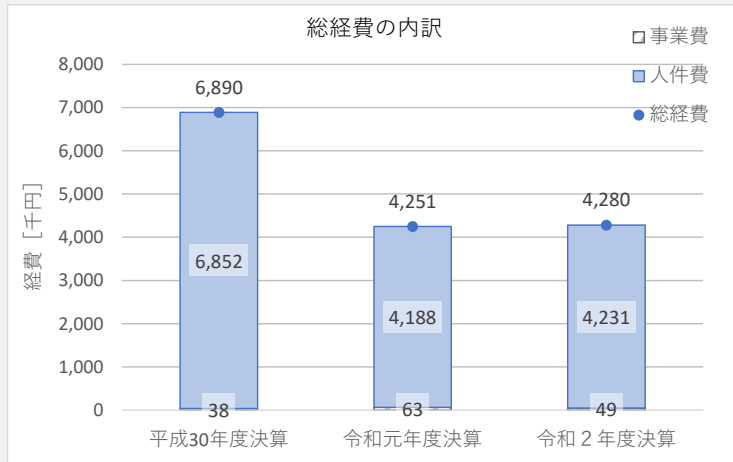
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	横須賀市環境基本計画(2011～2021)に掲げた施策の推進状況を明らかにし、達成状況等を公表するため年次報告書を作成する						分野別計画	環境基本計画
具体的な事業内容	データ集約システムを活用した「環境基本計画」進行管理の実施、及び分野別計画として位置付けている「みどりの基本計画」「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン」「環境教育・環境学習マスタープラン」「横須賀港湾環境計画」進行管理のためのデータ提供 進行管理の結果を年次報告書として作成、公表							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	38	63	49	72	千円
	人件費					
	正規職員（再任用職員を含む）	1.0	0.7	0.7	0.7	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	6,852	4,188	4,231	4,211	千円
	総経費(a + b)	6,890	4,251	4,280	4,283	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
年次報告書の作成 環境基本計画の進捗状況等を明らかにするため、年次報告書を作成し、公表する 本書：200部 概要版：600部 データ集：42部	年次報告書の作成 環境基本計画の進捗状況等を明らかにするため、年次報告書を作成し、公表する 本書：100部 概要版：360部 データ集：40部	年次報告書の作成 環境基本計画の進捗状況等を明らかにするため、年次報告書を作成し、公表する 本書：90部 概要版：350部 データ集：40部

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

- ・配布先の精査とペーパーレス化を実施し、作成部数が減少している。
- ・令和元年度は欠員が1人生じたため、また、令和2年度から新計画策定にかかる業務委託を行ったため、職員数を振り分けたことにより、会議開催数の増など業務量は増加したにもかかわらず人件費が減ったことになり、総経費が減少した。

今後の事業の方向性

- ・現行「環境基本計画」の計画期間が2021年度までのため、2022年度までは現状の進行管理を実施し、2022年度からの新たな計画期間に移行した際はデータ集約システム等の運用を見直し、コストの削減を図る（データ集約システムは、PC環境への対応（OSのサポート切れ等）が必要になると、外部事業者にプログラム更新業務を発注する必要がある）。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	18	項目番号	2(3)
事務事業名	新環境基本計画策定事業								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務								
根拠法令									
実施計画	大柱	その他の重点事業					分野別計画	環境基本計画	
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策							
	小柱								
目標	令和3年度末をもって「横須賀市環境基本計画(2011～2021)」の計画期間が終了するため、令和4年度以降の本市の環境行政の推進に関し、新たな環境課題や社会経済情勢の変化等に対応した「新環境基本計画」(計画期間は2022～2029)を策定する。								
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 環境課題等にかかる現状及び課題の把握(コンサルを活用した調査分析の実施) 環境審議会における調査審議、市民アンケート等の実施により、多様な主体から広く意見等を聴取し、新計画に反映すること 								
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)環境審議会による審議(令和2年度～令和3年度) (2)市民、事業者、子ども、農・漁業者等へのアンケートの実施(令和2年度) (3)新環境基本計画の策定・公表(令和4年3月末) 								

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 新環境基本計画策定業務委託	基礎調査・資料作成	0	0	1	式
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考:令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	0	0	3,790	3,907
事業費	活動経費	-	-	3,790	3,907	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.0	0.0	1.0	1.0	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	8,402	8,318	千円
経営資源	総経費(a + b)	0	0	12,192	12,225	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	・特になし(令和2年度～令和3年度事業のため)	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	・事業着手に伴う新規設定
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	・特になし(令和2年度～令和3年度事業のため)		
今後の事業の方向性	・令和2年度～令和3年度の2力年で継続して事業を実施し、新環境基本計画を策定する		

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	18	項目番号	2(4)ほか
事務事業名	温暖化対策推進事業								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

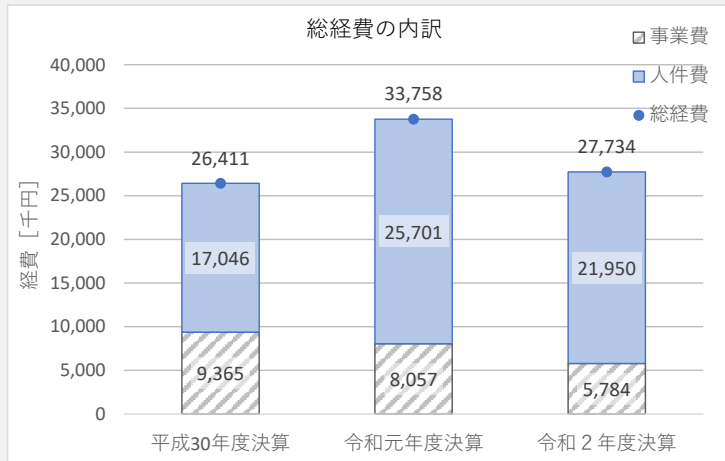
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	平成22年度に策定した「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011~2021)」に基づき、市民、事業者、市などが役割分担あるいは協働し、総合的かつ効果的に地球温暖化対策を推進していく。						分野別計画	低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011~2021)
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エコポイント事業補助金・・・横須賀市地球温暖化対策地域協議会が実施する「よこすかエコポイント事業」(省エネ設備等を設置・購入した市民に対して市内協力事業者の商品券等と交換できるエコポイントを交付)への補助(8,000円分または5,000円分) ・家庭用電気自動車等導入者奨励金・・・電気自動車(日産リーフもしくはe-NV200)および電気自動車充電設備(PCS)の導入奨励(@50,000円) ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会交付金・・・温暖化防止のための具体的な取り組みや啓発活動を担う協議会に対する交付金 ・市域温室効果ガス排出量算定業務委託料・・・排出量の公表は法定(地球温暖化対策の推進に関する法律) 							

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる経営資源に 人件費					
事業費 : a 予算現額・支出済額	9,365	8,057	5,784	8,098	千円
正規職員(再任用職員を含む)	2.0	3.0	2.5	2.5	人
会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	945	962	千円
b 人件費	17,046	25,701	21,950	21,757	千円
総経費(a + b)	26,411	33,758	27,734	29,855	千円

(3)



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
①エコポイント事業補助金【3,395千円】 交付(交換)件数:562件	①エコポイント事業補助金【3,377千円】 交付(交換)件数:565件	①エコポイント事業補助金【3,528千円】 交付(交換)件数:588件	
②家庭用電気自動車等導入者奨励金【3,600千円】 交付件数:72件(すべてEV)	②家庭用電気自動車等導入者奨励金【2,100千円】 交付件数:42件(EV41件、PCS1件)	②家庭用電気自動車等導入者奨励金【1,100千円】 交付件数:22件(EV21件、PCS1件)	
③横須賀市地球温暖化対策地域協議会交付金 《協議会実施事業》【700千円】	③横須賀市地球温暖化対策地域協議会交付金 《協議会実施事業》【649千円】	③横須賀市地球温暖化対策地域協議会交付金 《協議会実施事業》【395千円】	
(ア)省エネ推進PT事業 節電コンクール、緑のカーテンコンテスト等	(ア)省エネ推進PT事業 節電コンクール、緑のカーテンコンテスト等	(ア)省エネ推進PT事業 緑のカーテンコンテスト	
(イ)環境教育・環境学習PT事業 子ども環境体験教室	(イ)環境教育・環境学習PT事業 子ども環境体験教室、バスツアー等	(イ)環境教育・環境学習PT事業 ※すべて中止	
(ウ)節電啓発事業 緑のカーテン講習会、 よこすか節電チャレンジ等	(ウ)節電啓発事業 緑のカーテン講習会、 よこすか節電チャレンジ等	(ウ)節電啓発事業 よこすか節電チャレンジ等	

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

- ・家庭用電気自動車等導入者奨励金については、平成30年度は国内で地震や豪雨が発生し、災害対策等の観点からEVの需要が高まったとみられ交付件数が例年より大きく増加した(H28:50件、H29:50件)。令和元年度は例年並みに戻ったが、令和2年度はコロナの影響が大きいと思われるが交付件数が減少した。
- ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会については、令和2年度はコロナの影響でほとんどのイベントが中止となったため、実績に応じて交付金額が減少した。
- ・人件費については、令和元年度は平成30年度に従事していた全国市長会からの派遣職員が正規職員に代わったため増額となった。令和2年度は前年度から業務量は変わっていないが、新計画策定業務に職員数を振り分けたため減額となった。

今後の事業の方向性

本市は令和3年1月29日に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、目標実現のため排出量削減に向けた施策を毎年度計画的に進めていくことが必須である。本事業は、市域における再生可能エネルギーの導入促進および省エネルギー化の促進に資する事業であるため、さらなる効果を得るための手法を検討の上、引き続き実施していく必要があると考える。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	19	項目番号	2(5)
事務事業名	エコオフィス推進事業								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

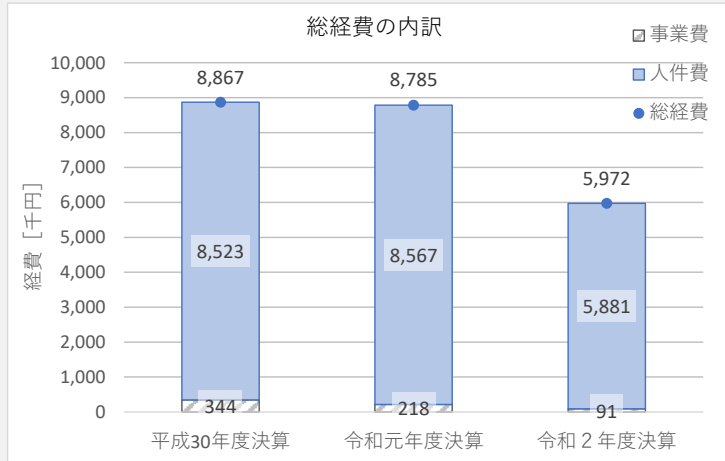
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令	エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)第7条、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)第4条、神奈川県地球温暖化対策推進条例(県条例)第4条など							
事業目的	本市事務事業の執行にあたり、当たり前に環境配慮がなされている状態(環境文化の醸成)を実現する。また一事業者としての市の環境負荷軽減に向けた取り組みが市民、事業者の模範となることで環境文化都市の牽引役を目指す。						分野別計画	低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011~2021)
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・YESの運用及び見直し ・本市グリーン購入調達方針等の改訂 ・省エネ法、温対法、県条例の報告書等の作成 ・電動アシスト付自転車の維持管理 							

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる事業費 に 人件費					
事業費 : a 予算現額・支出済額	344	218	91	188	千円
正規職員(再任用職員を含む)	1.0	1.0	0.7	0.7	人
会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
b 人件費	8,523	8,567	5,881	5,823	千円
総経費(a + b)	8,867	8,785	5,972	6,011	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
電動アシスト付自転車の貸出: 270件 環境研修・環境法令研修の実施: 1回	電動アシスト付自転車の貸出: 293件	電動アシスト付自転車の貸出: 127件

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

- ・YESは令和元年度に見直しを行い「環境研修・環境法令研修」および「優良取組表彰」を廃止したため、業務委託料と事務費が減額となった。
- ・電動アシスト付自転車は所有する2台の維持管理経費であり、貸出件数に関わらず経費はほぼ横ばいである。
- ・人件費については、令和2年度は前年度から業務量は変わっていないが、新計画策定業務に職員数を振り分けたため減額となった。

今後の事業の方向性

職員一人一人の環境意識のさらなる向上のため。および、今後も一事業者として、省エネ法等に基づく国・県への報告義務があるため、YESの運用は必要不可欠な取り組みである。
電動アシスト付自転車についても、引き続き、適正な維持・管理を行っていく。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	19	項目番号	2(6)
事務事業名	新地球温暖化対策実行計画策定業務								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

(1) 事務事業の概要

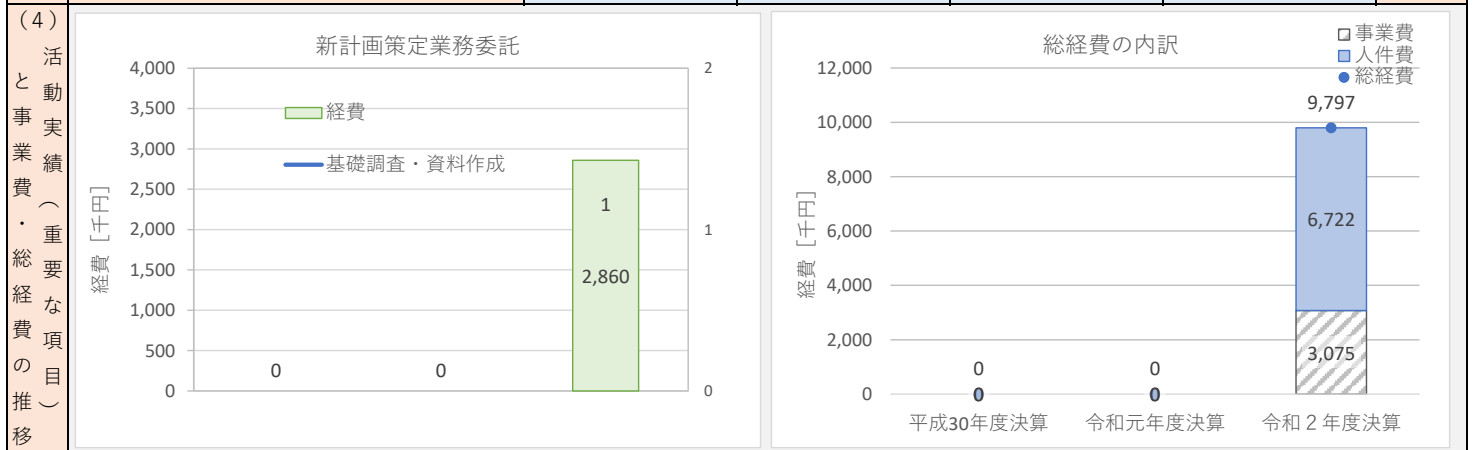
実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務								
根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律第21条、気候変動適応法第12条								
実施計画	大柱	その他の重点事業					分野別計画	低炭素で持続可能なよこすか戦略プラン(2011~2021)	
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策							
	小柱								
目標	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて平成23年3月に策定した現行の地球温暖化対策実行計画の計画期間が令和3年度で終了するため、今後の課題や社会経済情勢の変化等に対応した新たな計画(計画期間は2022~2029)を策定する。								
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 環境課題等にかかる現状及び課題の把握(コンサルを活用した調査分析の実施) 環境審議会における調査審議、市民アンケート等の実施により、多様な主体から広く意見等を聴取し、新計画に反映すること 								
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)環境審議会による審議(令和2年度~令和3年度) (2)市民、事業者、子ども、農・漁業者等へのアンケートの実施(令和2年度) (3)新地球温暖化対策実行計画の策定・公表(令和4年3月末) 								

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 新地球温暖化対策実行計画策定業務委託	基礎調査・資料作成	0	0	1	式
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1 年間事業費					
a 予算現額・支出済額	0	0	3,075	3,246	千円
活動経費	-	-	2,860	2,860	千円
その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	0	0	215	386	千円
人件費					
正規職員	0.0	0.0	0.8	0.8	人
会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
b 人件費	0	0	6,722	6,654	千円
総経費(a + b)	0	0	9,797	9,900	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	・特になし(令和2年度~令和3年度事業のため)	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	・事業着手に伴う新規設定
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	・特になし(令和2年度~令和3年度事業のため)		
今後の事業の方向性	・令和2年度~令和3年度の2力年で継続して事業を実施し、新地球温暖化対策実行計画を策定する。		

令和3年度 事務事業等の総点検

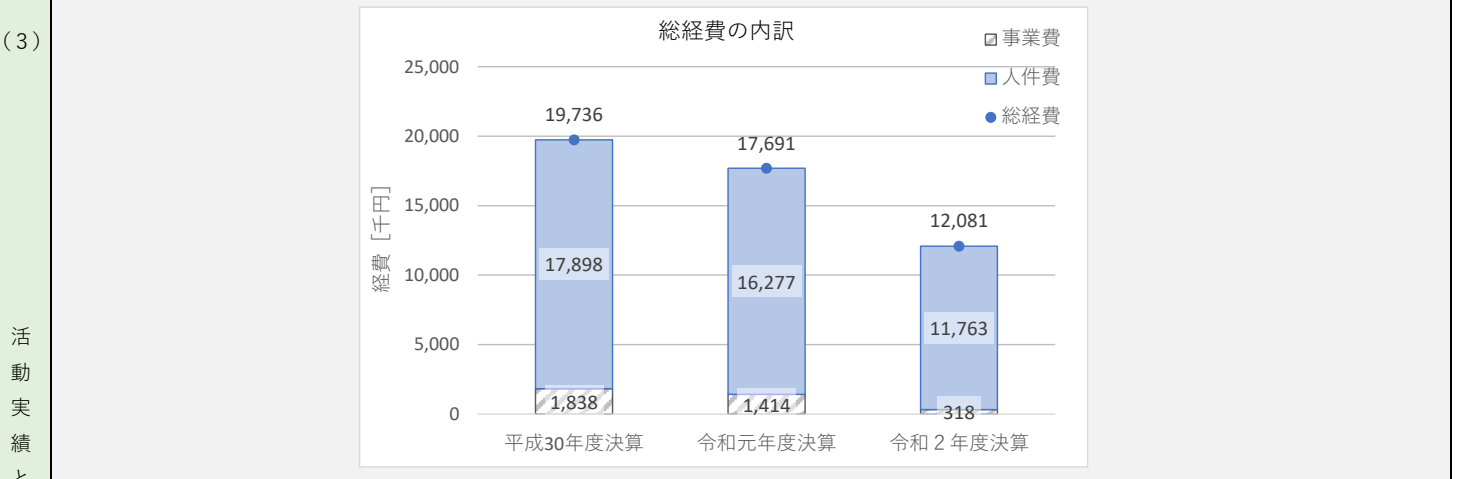
その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	19	項目番号	2(7)
事務事業名	環境教育推進事業								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	様々な主体が「環境」に興味・関心を持つきっかけとなるよう環境教育・環境学習事業を展開し、学校や地域等における自発的な環境活動の促進につなげる						分野別計画	環境基本計画 環境教育・環境学習マスタープラン
具体的な事業内容	「環境月間」啓発イベントの実施 協賛企業を募り、小中学生を対象とした環境ポスターコンクールの実施 小学校の総合的な学習の時間等に対応した環境体験事業や指導者派遣事業の実施							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
かかる事業執行に	事業費：a 予算現額・支出済額	1,838	1,414	318	1,921	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	2.1	1.9	1.4	2.1	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	17,898	16,277	11,763	17,468	千円
	総経費（a + b）	19,736	17,691	12,081	19,389	千円



平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
(1)「環境月間」啓発イベントの実施 6月の環境月間に広く市民等を対象として、環境に興味・関心を持ってもらうきっかけとなるイベントを実施する 対象：不特定多数の市民等 参加者数：約430人	(1)「環境月間」啓発イベントの実施 6月の環境月間に広く市民等を対象として、環境に興味・関心を持ってもらうきっかけとなるイベントを実施する 対象：不特定多数の市民等 参加者数：約370人	(1)「環境月間」啓発イベントの実施 6月の環境月間に広く市民等を対象として、環境に興味・関心を持ってもらうきっかけとなるイベントを実施する 対象：不特定多数の市民等 参加者数：-
(2)環境ポスターコンクールの実施 対象：市内小中学校、市内企業等 応募数：380作品 協賛企業数：団体21社	(2)環境ポスターコンクールの実施 対象：市内小中学校、市内企業等 応募数：585作品 協賛企業数：団体20社	(2)環境ポスターコンクールの実施 対象：市内小中学校、市内企業等 応募数：- 協賛企業数：-
(3)猿島自然観察会の実施 対象：市内小学校 参加者数：6校11クラス、333人	(3)猿島自然観察会の実施 対象：市内小学校 参加者数：5校10クラス、292人	(3)猿島自然観察会の実施 対象：市内小学校 参加者数：1校4クラス、114人

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は欠員が1人生じたため人件費が若干減少した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種事業の実施を見送ったことにより事業費が大幅に減少した。
今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容を精査し、事業費及び職員の負担の減につなげる。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	19	項目番号	2(8)ほか
事務事業名	一般事務費								所管部課名	環境政策部 環境企画課		

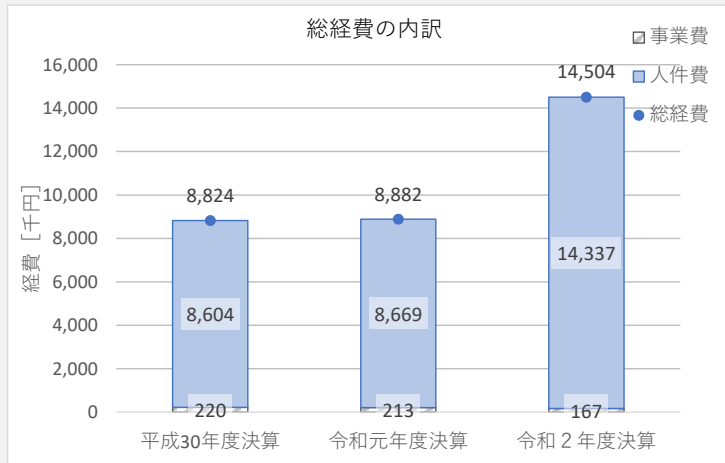
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	部内・課内の総務事務を円滑に執行すること						分野別計画
具体的な事業内容	議会对応資料等の作成 部内・課内の連絡調整 会計年度任用職員(パートタイム)報酬						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	220	213	167	374	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.9	0.9	1.6	0.9	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	933	959	894	905	千円
	b 人件費	8,604	8,669	14,337	8,391	千円
	総経費(a + b)	8,824	8,882	14,504	8,765	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
特になし(内部管理経費のみ)	特になし(内部管理経費のみ)	特になし(内部管理経費のみ)

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、環境教育推進事業で想定した人工が減となったが、当該人工をコロナ対応等で生じた一般事務の増への対応に充てたため、人件費が増となった。

今後の事業の方向性

特になし

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	20	項目番号	3(1)ほか
事務事業名	横須賀エコツアー推進事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

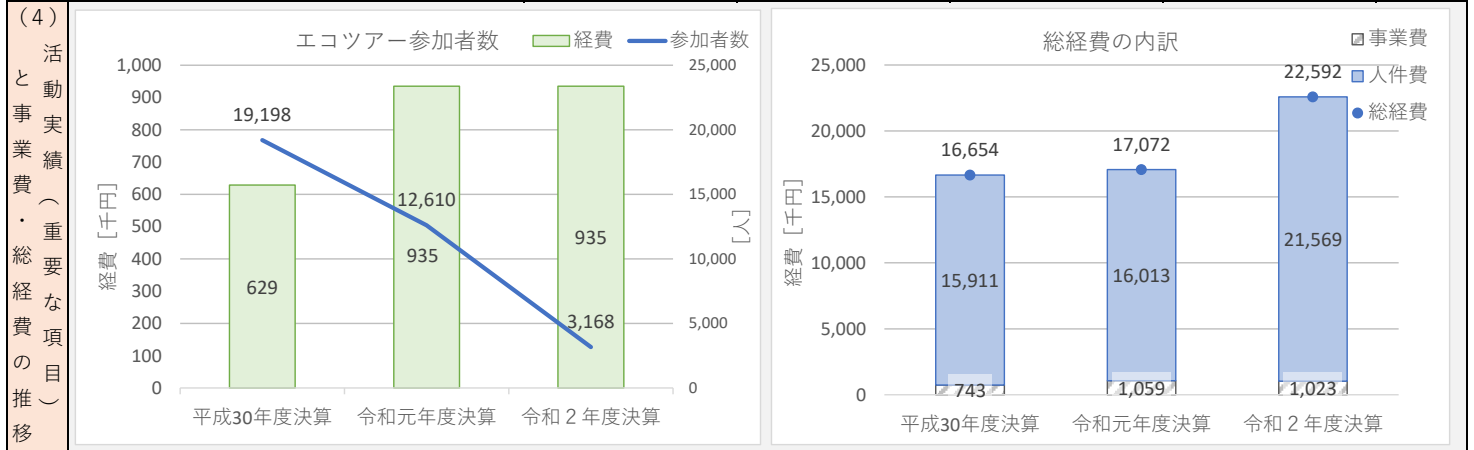
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興					分野別計画
	中柱	活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備					
	小柱	⑤日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	地域で活動するガイドによるエコツアーを実施することにより、本市の魅力ある自然観光資源(自然環境に係る観光資源)を保全しながら活用を図り、地域の活性化と資源の持続的な利用を確保する。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーを行うガイド団体の支援と連携 ・本市の自然環境の魅力を市内外に発信する 						
具体的な事業内容	(1)横須賀エコツアーサポート協会の運営(広報支援、ガイド研修、HP管理、キャンペーン開催、ガイドの公募ほか) (2)横須賀エコツアー連絡会議の開催(ガイド団体の連絡調整) (3)モニタリング調査						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① エコツアーの実施	参加者数	19,198	12,610	3,168	人
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② モニタリング調査	調査箇所	8	8	7	フィールド
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考:令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	743	1,059	1,023	1,060
事業費	活動経費	629	935	935	935	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	114	124	88	125	千円
人件費	正規職員	1.8	1.8	2.5	2.5	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	570	592	564	570	千円
	b 人件費	15,911	16,013	21,569	21,365	千円
経営執行費	b 人件費	15,911	16,013	21,569	21,365	千円
資源	総経費(a + b)	16,654	17,072	22,592	22,425	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞ったツアーの紹介を集中的に行うことで、ツアー内容と利用者の効率的なマッチングを図り、集客を促進 ・専用HPの運用経費をサポート協会で購入とした 	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・専用HPのリニューアル(フィールドの紹介から、ツアー紹介をメインとする)
------------------------	--	------------------------	---

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーは地域で活動する団体(主に高齢者)の主催のため、コロナ禍の影響で開催中止となり、令和2年度はほとんど開催できなかった。 ・その中で専用HPのリニューアルを図るとともに、SNSで各フィールドの情報発信を開始するなどの対応を行った。 (1.0)
-----------------------	---

今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・公募によりガイド団体を増やし、コロナ感染症収束後に市内各地でエコツアーを開催できるようにする。
-----------	--

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	20	項目番号	3(2)ほか
事務事業名	鳥獣保護管理対策事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

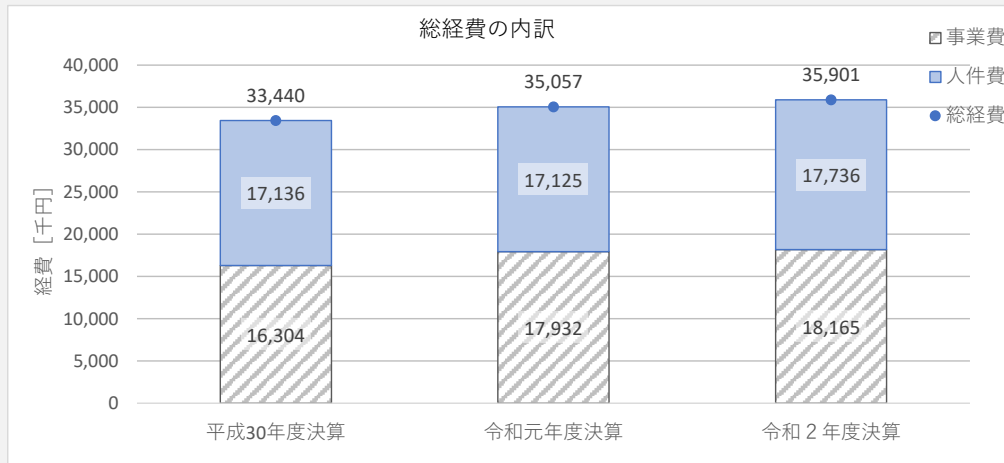
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(第9条ほか)						
事業目的	野生鳥獣及び特定外来生物による生活被害や農作物被害、人身被害、生態系被害の防止					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣保護管理法に基づく捕獲許可及び飼養登録事務手続きの執行 神奈川県イノシシ管理計画に基づくイノシシ捕獲の実施 特定外来生物法に基づくアライグマやクリハラリス(タイワンリス)等の防除の実施 						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる経営資源に 人件費					
事業費 : a 予算現額・支出済額	16,304	17,932	18,165	19,113	千円
正規職員(再任用職員を含む)	1.9	1.9	2.0	2.0	人
会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員(パートタイム)	942	848	932	1,007	千円
b 人件費	17,136	17,125	17,736	17,643	千円
総経費(a + b)	33,440	35,057	35,901	36,756	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
1 捕獲許可申請…28件 2 飼養登録(更新)申請…4件 3 特定外来生物等防除 (1)アライグマ…270頭 (2)クリハラリス(タイワンリス)…4,443頭 (3)ハクビシン…186頭 4 イノシシ捕獲…計10頭 (1)業務委託…0頭 (2)有害鳥獣捕獲(ボランティア)…10頭	1 捕獲許可申請…31件 2 飼養登録(更新)申請…2件 3 特定外来生物等防除 (1)アライグマ…185頭 (2)クリハラリス(タイワンリス)…3,004頭 (3)ハクビシン…185頭 4 イノシシ捕獲…計13頭 (1)業務委託…12頭 (2)有害鳥獣捕獲(ボランティア)…1頭	1 捕獲許可申請…32件 2 飼養登録(更新)申請…2件 3 特定外来生物等防除 (1)アライグマ…294頭 (2)クリハラリス(タイワンリス)…4,937頭 (3)ハクビシン…186頭 4 イノシシ捕獲頭数…計13頭 (1)業務委託…13頭 (2)有害鳥獣捕獲(ボランティア)…0頭

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)
 人件費については、令和元年度に会計年度任用職員(フルタイム)1名の配置により最も高くなっている。
 事業費については、令和元年度から委託によるイノシシ捕獲を開始したことに伴い、主に業務委託料が毎年増加し、総経費としても増加傾向にあるが、特定財源である「市町村事業推進交付金」の枠内で賄うため、限られた範囲内の予算で事業を執行している。(2.0)

今後の事業の方向性
 鳥獣保護管理法に基づき、県から権限移譲を受けた鳥獣(39種)について、捕獲許可申請書の受付や審査、許可証の交付、返納手続きなどの必要な事務手続きを執行するとともに、有効期間に応じて飼養登録(更新)の申請受付、登録票の交付などの必要な事務手続きを滞りなく執行する。
 特定外来生物については、確実な個体数の減少と根絶を目指し、被害防除及び計画防除により捕獲圧を緩めることなく継続的かつ計画的な防除に取り組む。
 令和3年度からは、平成26年5月に西地域(芦名)で生息が確認されて以降、断続的に出没被害等を生じさせている離れイノシシの捕獲にも着手し、市内全域からの完全な排除を目指す。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	21	項目番号	3(3)
事務事業名	身近な自然の保全とふれあい推進事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

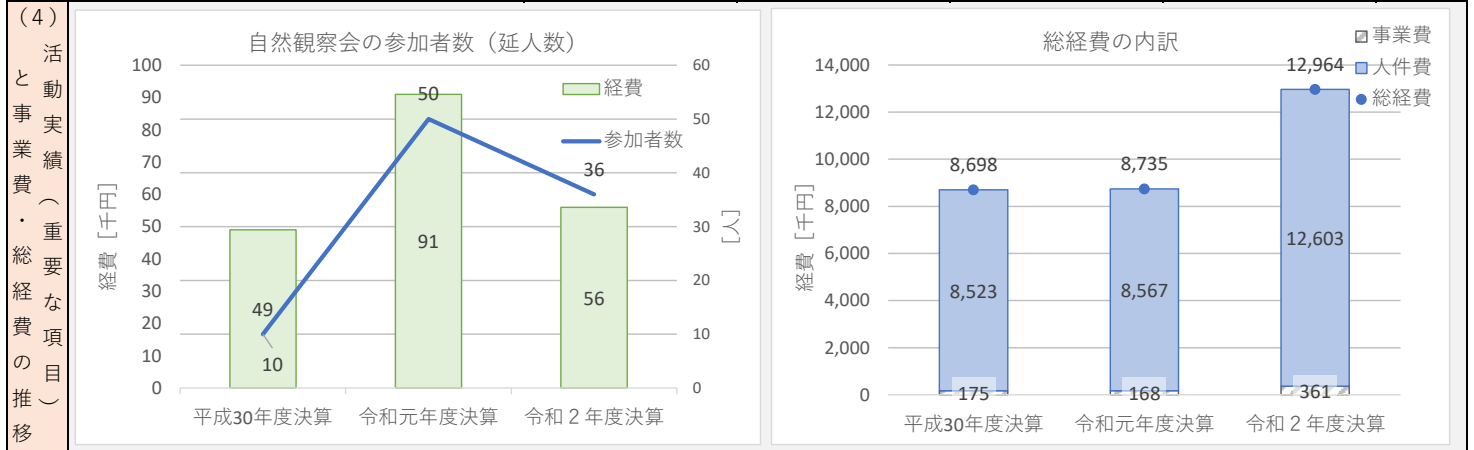
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	その他の重点事業					分野別計画
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策					
	小柱						
目標	身近な自然環境の保全・活用に対する意識向上を図る。また、市民が将来にわたり身近な自然とふれあえる場と機会を提供する						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀の自然環境の魅力や大切さを知ってもらう機会をつくる ・活動団体を支援し、関係機関との連携を図りながら活動の輪を広げていく ・基礎的調査の継続的实施 						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自然環境調査(みどころ調査)、自然暦の作成 (2) 自然観察会の開催 (3) 学区の自然体験事業 (4) 生物多様性の取り組み、自然環境の保全・活用に関する情報収集及び検討 						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 自然観察会の開催	参加者数	10	50	36	人
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② 学区の自然体験事業の実施	参加児童数(延人数)	1,253	1,502	1,024	人
③ 自然環境調査の実施	調査場所	2	2	2	箇所

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考: 令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	175	168	361	459
事業費	活動経費	49	91	56	84	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	126	77	305	375	千円
人件費	正規職員	1.0	1.0	1.5	1.5	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	8,523	8,567	12,603	12,477	千円
経営資源	総経費(a + b)	8,698	8,735	12,964	12,936	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れ合う機会をふやすため観察会の回数増 ・参加者が高齢者に偏ってしまいがちだったため、ターゲットを絞った開催を行った(親子向け。自然の素材を使ったクラブや自然遊びを取り入れる) 	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものうちから身近な自然環境を知り、ふれあう機会を作るため学区の自然体験事業を開始(令和元年までは市民協働モデル事業として実施していた)
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のためR2年度は自然観察会を1回しか開催できなかったが、自然観察会などアウトドア体験への申し込みは増加傾向にあるため、開催回数を増やすことができれば、相応の参加者を獲得できると考える。 (1.0)		
今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会や小学校での体験事業など、ターゲットに合った開催方法や内容を工夫することで、プログラムの充実を図る。 		

令和3年度 事務事業等の総点検

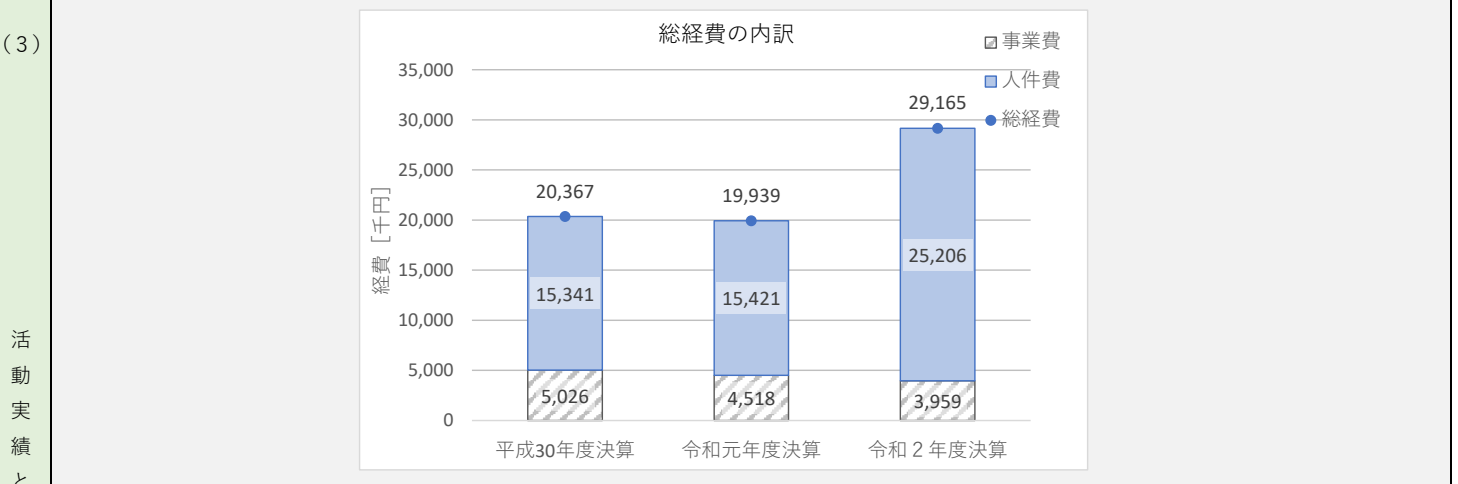
その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	21	項目番号	3(4)
事務事業名	里山的環境保全・活用事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	荒廃した里山的環境を再生し、市民が身近な自然にふれあえる環境を創出するとともに、市民・団体・企業・行政が役割分担しながら里山的環境を保全・活用していく体制をつくる。						分野別計画
具体的な事業内容	(1) 里山的環境の場の整備(長坂地区および野比かがみ田谷戸における保全・活用等) (2) 保全・活用活動の充実と拡大(活動体制の充実、担い手育成、活動手法の検討)						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
かかる事業執行に	事業費 : a 予算現額・支出済額	5,026	4,518	3,959	4,811	千円
	正規職員(再任用職員を含む)	1.8	1.8	3.0	3.0	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	15,341	15,421	25,206	24,954	千円
	総経費(a + b)	20,367	19,939	29,165	29,765	千円



	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
活動実績と総経費の推移	(1) 里山活動推進協議会及び長坂地区連絡会の開催 (2) 里山再生作業・維持管理 (3) 里山イベントの開催 ・田んぼ学校(野比地区2校372人)(長坂1校123人) ・体験会2回50人 ・長坂観察会(3コース、50人) ・かがみ田観察会(2回、48人) ・収穫祭(104人) ・里山ボランティア講習会(12回8人) (4) その他 ・モニタリング調査 ・HP維持管理ほか	(1) 里山活動推進協議会及び長坂地区連絡会の開催 (2) 里山再生作業・維持管理 (3) 里山イベントの開催 ・田んぼ学校(野比地区2校326人)(長坂1校70人) ・体験会6回290人 ・長坂観察会(コロナで中止) ・かがみ田観察会(3回、44人) ・収穫祭(約160人) ・里山ボランティア講習会(12回3人) (4) その他 ・モニタリング調査 ・HP維持管理ほか	(1) 里山活動推進協議会及び長坂地区連絡会の開催 (2) 里山再生作業・維持管理 (3) 里山イベントの開催 ・田んぼ学校(長坂1校46人) ・体験会5回242人 ・長坂観察会(4コース69人) ・かがみ田観察会(なし) ・収穫祭(9人、コロナで縮小開催) ・里山ボランティア講習会(6回5人、コロナで縮小開催) (4) その他 ・モニタリング調査 ・HP維持管理ほか

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	(2.5) ・里山活動の担い手育成のために実施してきた里山ボランティア育成講習会の受講生が団体を立ち上げ、講習会やイベントの講師を務めたり、団体独自に林野庁などの補助金を獲得して自立した活動を行うようになった。
-----------------------	--

今後の事業の方向性	・長坂緑地における里山フィールドの範囲を決めて必要最低限の施設整備や管理運用のルールづくりを進めるとともに、将来的に自立した管理運営の担い手となるように里山活動推進協議会の見直しを行う。 ・里山イベントは受益者負担となるように移行していきたい。
-----------	---

令和3年度 事務事業等の総点検

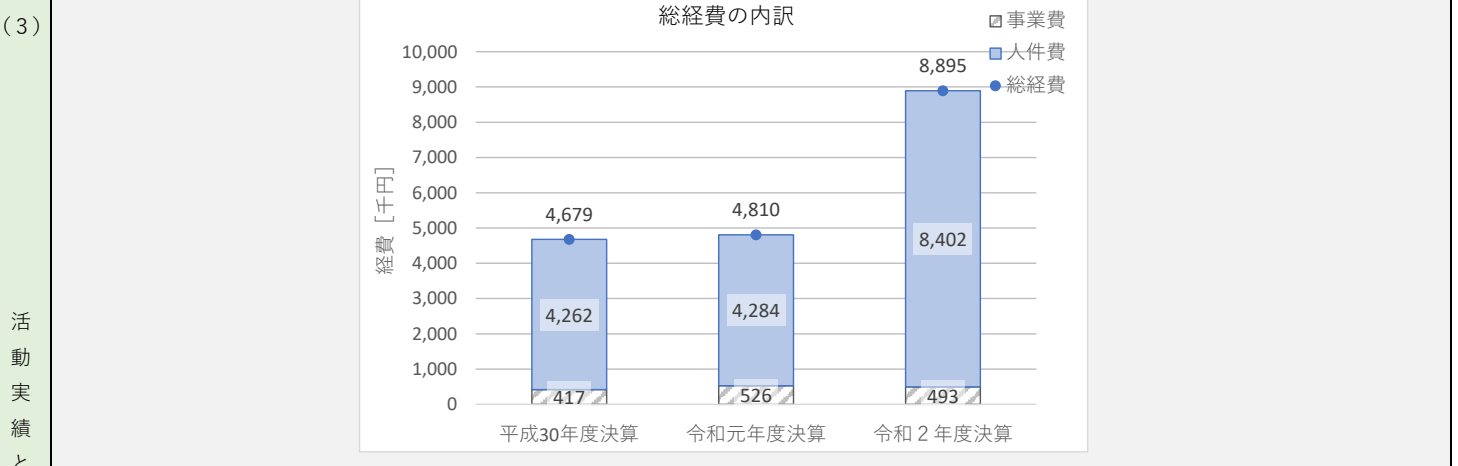
その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	22	項目番号	3(5)
事務事業名	自然環境事務費								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	(1) 自然環境全般に関連する市民活動団体間、関係市町、町内の情報交換の場を設け、自然環境に対する活動の広がりを促進・支援する。 (2) 講演会を開催し、自然環境の理解と共通認識を図る (3) 自然環境業務全般に係る事務を総括し、円滑な事業推進を図る						分野別計画
具体的な事業内容	(1) 交流会及び連絡会の運営 ① 自然環境活動団体交流会及び勉強会の開催② 庁内関連課での自然環境情報やホテル情報の連絡会及び勉強会③ 三浦半島の自然環境の保全活用に関する行政連絡会議の開催(逗子市、三浦市、鎌倉市、葉山町、横須賀市)ほか (2) 講演会の開催 (3) 自然環境に係る総括的業務						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる経営資源に 人件費					
事業費： a 予算現額・支出済額	417	526	493	635	千円
正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	1.0	1.0	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	4,262	4,284	8,402	8,318	千円
総経費 (a + b)	4,679	4,810	8,895	8,953	千円



平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
(1) 自然環境講演会の開催(1回) 平成30年12月15日(土)14時～15時半 テーマ「JAMSTEC 海の研究からわかる自然環境」 講師 海洋生物多様性研究分野技術研究員 生物地球科学研究分野主任研究員 参加者 88名(申込75名) ※博物館と共催(理科フェスティバルと連携)	(1) 自然環境講演会の開催(1回) 令和元年12月14日(土)14～16時 テーマ「よこすかの植物たち」 講師 神奈川大学 准教授 県立生命の星・地球博物館学芸員 参加者 63名(申込47名) ※博物館と共催(理科フェスティバルと連携)	(1) 自然環境講演会の開催(中止) 緊急事態宣言発令のため (2) 三浦半島の自然環境の保全・活用に関する行政連絡会議(実績なし) (3) 自然環境活動団体交流会(実績なし)
(2) 三浦半島の自然環境の保全・活用に関する行政連絡会議(1回) 都市緑地法改正に伴う対応、森林環境税に関する対応、市民活動団体の育成について、他情報交換	(2) 三浦半島の自然環境の保全・活用に関する行政連絡会議(実績なし)	
(3) 自然環境活動団体交流会(2回)	(3) 自然環境活動団体交流会(1回) 2回目はコロナ感染症拡大防止のため中止	

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・主な経費は講演会の開催に伴うもの(謝礼等)で、他は事務経費である。近隣自治体との連絡会議や市民団体の交流会には特に経費は掛かっていない。 ・全庁で一括購入したプリンターの消耗品に係る経費が上がったため、令和元年度以降の事務経費がかさんでいる。(0.5)
今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会については博物館と連携しながら市民の自然環境分野への関心を深める効果が期待できる。 ・コロナ禍を機に、交流会や行政連絡会議の在り方や開催方法を検討する必要がある。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	4	説明資料	23	項目番号	4(1)ほか
事務事業名	環境保全対策事業								所管部課名	環境政策部 環境管理課		

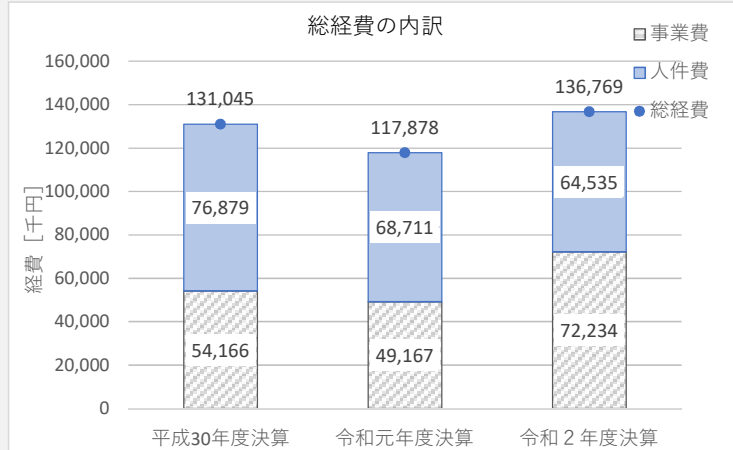
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	なし	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、ダイオキシン類対策特別措置法ほか							
事業目的	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、ダイオキシン類等に係る環境基準の達成状況を把握すると同時に、発生源である工場・事業場の規制指導を行うことにより、環境への負荷を低減し、生活環境の保全を図る。						分野別計画	環境基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、ダイオキシン類等に係る調査を適正に実施(委託)することや測定機器の維持管理をすること。 ・発生源である工場・事業場へ規制指導を行うこと。 							

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行にかかると経営資源に					
事業費 : a 予算現額・支出済額	54,166	49,167	72,234	73,418	千円
人件費					
正規職員(再任用職員を含む)	9.0	8.0	8.0	10.0	人
会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員(パートタイム)	172	175	619	633	千円
b 人件費	76,879	68,711	64,535	80,590	千円
総経費(a + b)	131,045	117,878	136,769	154,008	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
大気汚染、水質汚濁、騒音等に係る調査を適正に実施するとともに、発生源である工場・事業場へ規制指導を行った。	引き続き、大気汚染、水質汚濁、騒音等に係る調査を適正に実施するとともに、発生源である工場・事業場へ規制指導を行った。	・ダイオキシン類規制監視事業を本事業に統合した。 ・令和3年1月、池上コミュニティセンター内に大気汚染常時監視測定局を新設した。

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

令和2年度はダイオキシン類規制監視事業を本事業と統合したこと及び池上コミュニティセンター内に大気汚染常時監視測定局を新設したため、事業費が増加した。

今後の事業の方向性

引き続き、環境法令等に基づき適正に事業を実施していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

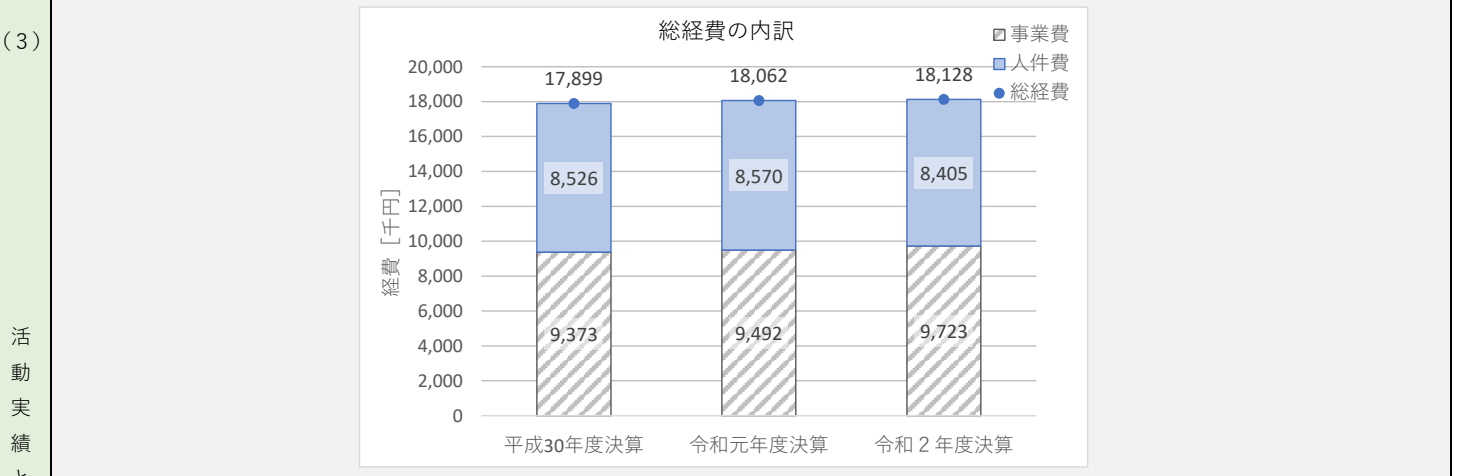
その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	27-28	項目番号	1(1)
事務事業名	花いっぱい推進事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	花の作り手を増やすことで、市民一人ひとりが花を育て、市内が花いっぱいになり、人々に憩いと安らぎをもたらすこと。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内花壇用草花苗等配布:市内約90団体へ年2回花苗等を配布するほか、年1回専門家による花壇づくりの講習会を開催。 ・地域の花いっぱい推進:追浜地域、久里浜地域、市役所前公園において市民主体の花いっぱい運動を推進。 						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	9,373	9,492	9,723	11,400	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	1.0	1.0	1.0	1.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	3	3	3	3	千円
	b 人件費	8,526	8,570	8,405	8,321	千円
	総経費（a + b）	17,899	18,062	18,128	19,721	千円



区分	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
総経費の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・町内花壇用種子の配布 92団体250花壇(1,877㎡) ・追浜、くりはま、市役所前公園花壇の花植え 追浜地区 ボランティア240人 久里浜地区ボランティア46人 市役所前花壇ボランティア79人 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内花壇用種子の配布 90団体248花壇(1,869㎡) ・追浜、くりはま、市役所前公園花壇の花植え 追浜地区 ボランティア310人 久里浜地区ボランティア24人 市役所前花壇ボランティア82人 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内花壇用種子の配布 88団体244花壇(1,904㎡) ・追浜、くりはま、市役所前公園花壇の花植え 追浜地区 ボランティア40人 久里浜地区ボランティア12人 市役所前花壇ボランティア90人

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	
-----------------------	--

今後の事業の方向性	市民ボランティアに負う部分が多い事業であり、ボランティアの高齢化が進み、参加人数の減少が見受けられ、今後の活動継続に懸念がある。令和3年度より、地域の花いっぱいにかかる委託事業をとりやめ、さらに事業見直しをすすめていく。方向性としては、市役所前公園花壇についてボランティアによる維持管理を継続していく考え。
-----------	---

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	29	項目番号	3(1)
事務事業名	市街化区域樹林地保全支援事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

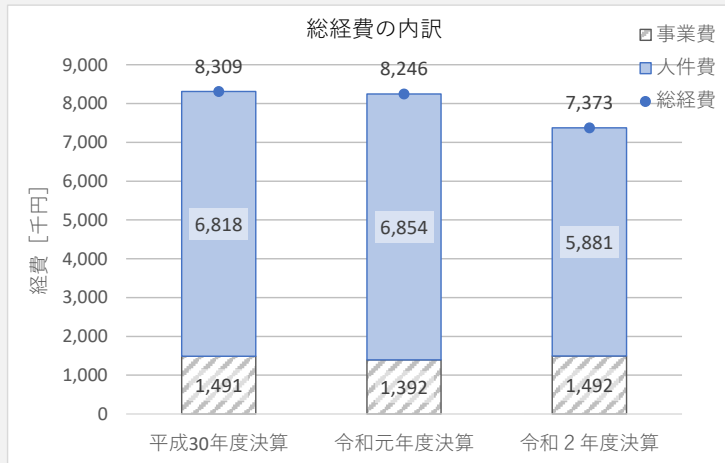
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	本市のみどりを市民の貴重な財産として保全していくため、保全契約者に対し樹林地保全支援金を交付することで樹林地の減少を防ぐ。						分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
具体的な事業内容	市街化区域内における樹林地の保全支援制度要綱に基づく保全契約者に対し保全支援を交付する。 ・契約期間は5年間 ・保全支援金(円)=(固定資産税+都市計画税)×3+契約面積(m ²)×2							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	1,491	1,392	1,492	1,573	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.8	0.8	0.7	0.5	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	6,818	6,854	5,881	4,159	千円
	総経費(a + b)	8,309	8,246	7,373	5,732	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
樹林地保全支援金交付 112件 37.5ha	樹林地保全支援金交付 115件 34.9ha	樹林地保全支援金交付 113件 37.8ha

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

大きな増減は見られない。
(1.0)

今後の事業の方向性

現在の制度では、草刈り程度の支援金の支給となっており、樹林地の維持管理費用の補助までできていない状況である。よって、樹林地の適切な維持管理を行い、健全な樹林地を保全するためには、維持管理費用の補助制度が必要である。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	29	項目番号	3(2)
事務事業名	都市緑地保全事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

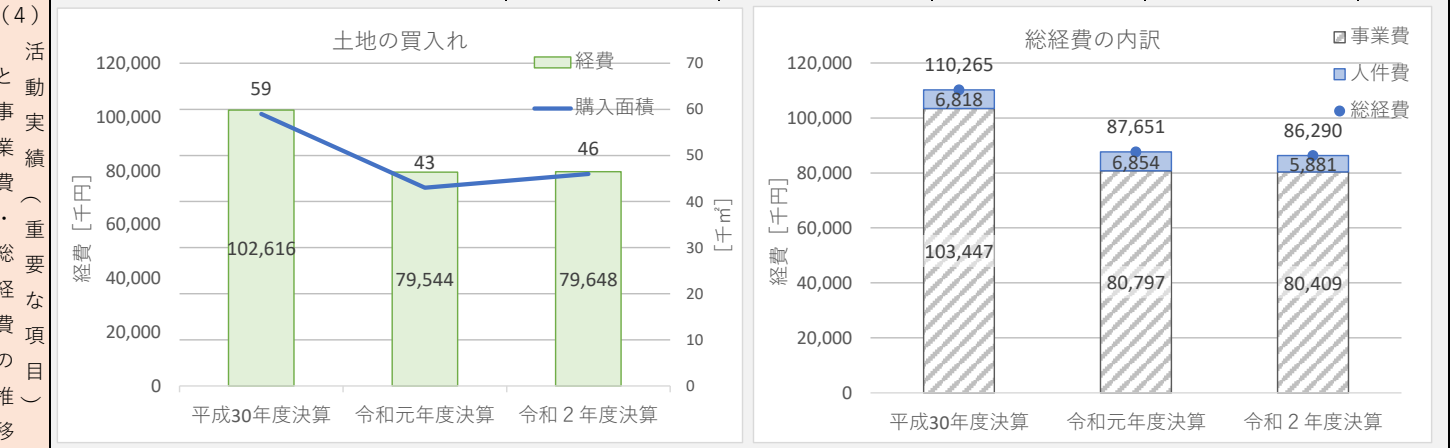
実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法						
実施計画	大柱	その他の重点事業					分野別計画
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策					
	小柱						
目標	本事業に基づく買入れは、市の義務となっているため、近郊緑地特別保全地区内の民有地が、すべて公有地になることが最終目標となる。						
目標達成に必要なこと	財源の確保を確実にし、計画的に実施していく。						
具体的な事業内容	特に良好な緑地を保全するため、近郊緑地特別保全地区が武山と衣笠・大楠山の2地区に約244ha指定されており、当該地区内での土地の形質の変更や木竹の伐採等は原則認められないため、土地利用行為に係る許認可等事務(不許可処分)による法的救済措置として、土地の買入れを行っている。						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 土地の買入れ	購入面積	59	43	46	千㎡
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	103,447	80,797	80,409	80,775
事業費	活動経費	102,616	79,544	79,648	80,000	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	831	1,253	761	775	千円
人件費	正規職員	0.8	0.8	0.7	0.6	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	6,818	6,854	5,881	4,991	千円
経営執行費	総経費(a + b)	110,265	87,651	86,290	85,766	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	予算額を減した。	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	(1.5) 多数の買入れ申し出があることから、早急な対応が必要ではあるが、市の財政状況を考慮し計画的に進める必要がある。		
今後の事業の方向性	本事業における土地の買入れは都市緑地法に基づくものであり、市の義務となっているため、維持継続せざるを得ない。		

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	29	項目番号	3(3)
事務事業名	風致地区内行為許可等業務								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

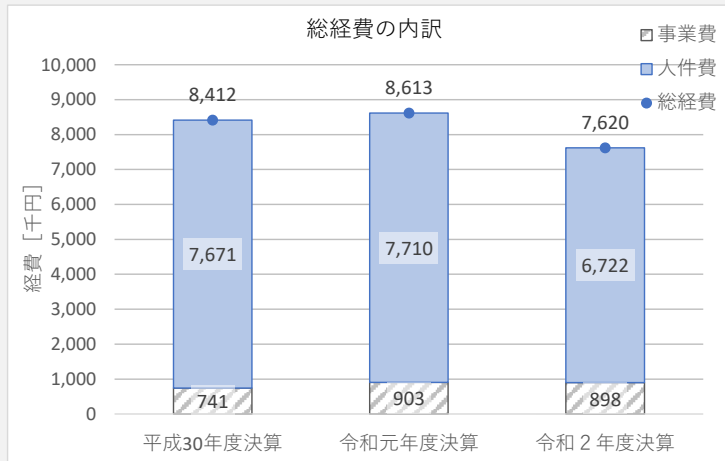
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	都市計画法、首都圏近郊緑地保全法							
事業目的	都市計画法第58条1項に基づく横須賀市風致地区条例に基づき、風致地区内における建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採その他の行為について必要な規制を行い、都市の風致を維持するものである。						分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・風致地区内における建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採その他の行為について、許可及び検査事務を行う。 ・特別緑地保全地区と風致地区のパトロールを委託する。 							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる事業資源に 関する 人件費					
事業費：a 予算現額・支出済額	741	903	898	904	千円
正規職員（再任用職員を含む）	0.9	0.9	0.8	0.7	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	7,671	7,710	6,722	5,823	千円
総経費（a + b）	8,412	8,613	7,620	6,727	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・近郊緑地保全区域内における建築等行為の届出受理に関する事務 62件 ・近郊緑地特別保全地区内における建築等行為の許可等事務 2件 ・風致地区内における建築行為の許可等事務 55件 ・風致地区内等パトロール業務委託 22回 	<ul style="list-style-type: none"> ・近郊緑地保全区域内における建築等行為の届出受理に関する事務 31件 ・近郊緑地特別保全地区内における建築等行為の許可等事務 2件 ・風致地区内における建築行為の許可等事務 50件 ・風致地区内等パトロール業務委託 22回 	<ul style="list-style-type: none"> ・近郊緑地保全区域内における建築等行為の届出受理に関する事務 19件 ・近郊緑地特別保全地区内における建築等行為の許可等事務 5件 ・風致地区内における建築行為の許可等事務 49件 ・風致地区内等パトロール業務委託 22回

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

大きな増減は見られない。
(1.5)

今後の事業の方向性

風致地区及び近郊緑地(特別)地区における緑地保全の効果は高いと考えるため、維持継続していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	29	項目番号	3(4)
事務事業名	みどりの基本計画推進事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
実施計画	大柱	その他の重点事業					分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策						
	小柱							
目標	「みどりの基本条例」に規定した制度等を創設し、市民が「みどり」にふれあえるよう、身近なみどりを増やすこと。							
目標達成に必要なこと	「みどり」に関する施策効果の検証および進行管理を行いながら、「横須賀市みどりの基本計画」及び「みどりの基本条例」に位置づけられた施策を推進し、「みどり」の保全及び創出を図ること。							
具体的な事業内容	1 自然環境や社会情勢などの変化に対応した「みどりの基本計画」の改定 2 「環境審議会みどり政策推進部会」「環境総合政策会議」「環境総合政策会議みどりの基本推進部会」の運営 3 「みどりの基本計画」の推進施策の展開							

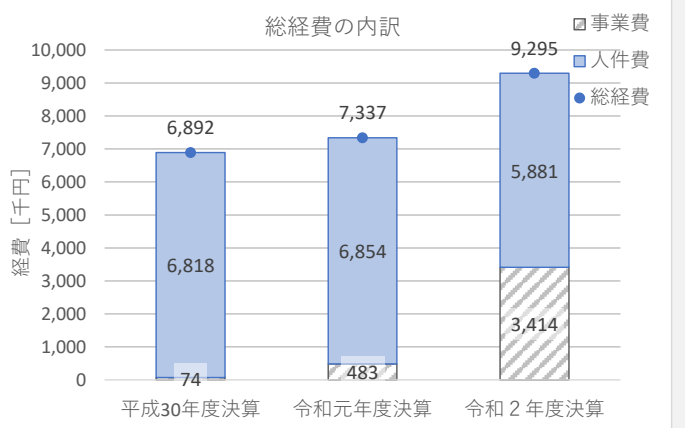
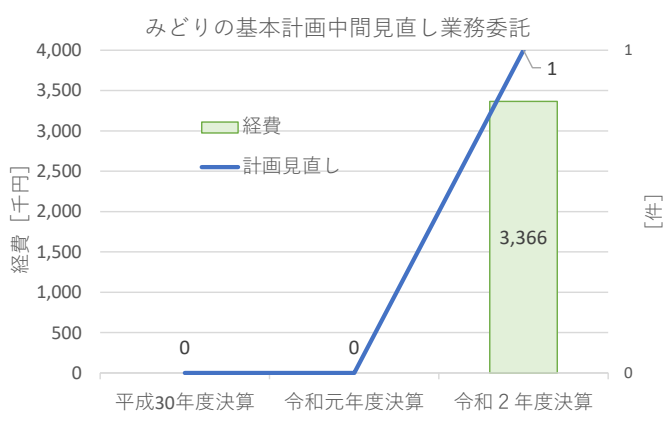
(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① みどりの基本計画中間見直し業務委託	計画見直し	-	-	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② ナラ枯れ対策(立木くん蒸等)業務委託	ナラ枯れ対策	0	1	0	件
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 間 の 事 業 費 の 経 費 源	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	74	483	3,414	3,900
経費	活動経費	0	0	3,366	3,740	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	74	483	48	160	千円
人件費	正規職員	0.8	0.8	0.7	0.6	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	6,818	6,854	5,881	4,991	千円
源	総経費(a + b)	6,892	7,337	9,295	8,891	千円

(4) 活動と事業実績・重要な経費の推移



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	特になし	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	横須賀市みどりの基本計画中間見直し業務を実施
------------------------	------	------------------------	------------------------

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	(1.0) 計画の本改定は10年毎に、中間見直しを中間年(5年)に一定額の経費が必要となる。
-----------------------	---

今後の事業の方向性	みどりの基本計画の全面改定について、総合計画と整合を取りながら、改定時期を見直していく。本計画は法定計画であり、国の交付金事業とするためにも計画は必要である。
-----------	---

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	30	項目番号	3(5)
事務事業名	民有地緑化支援事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

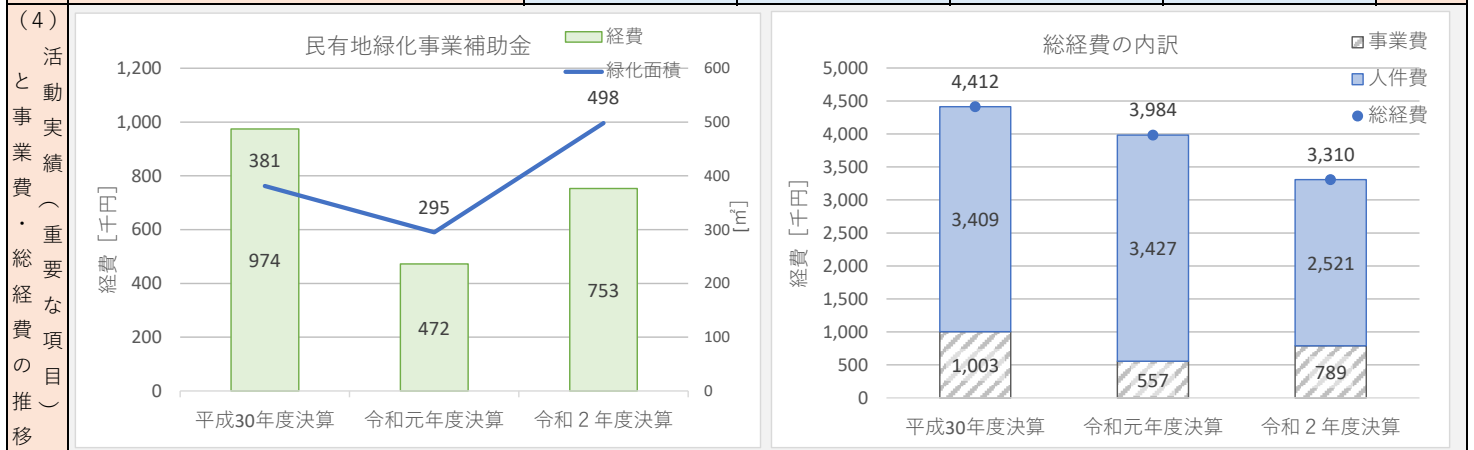
実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	その他の重点事業				分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	みどりの保全・創出、環境保全・再生、地球温暖化対策					
	小柱						
目標	「みどり」の少ない地域の緑化を推進するため、本市の緑被率の向上、街並み景観の向上、ヒートアイランド緩和を図ること。						
目標達成に必要なこと	市民一人ひとりの緑化に対する意識の向上を図ること。						
具体的な事業内容	民有地の緑化を推進するため、緑化行為者等に対して以下のとおり事業費の一部の助成等を行う事業である。 ①対象地域：市街化区域内(緑化重点地区。ただし、風致地区は除く) ②対象者：個人、および事業者(開発事業者等は除く) ③対象行為：道路面緑化(補助金額全体の約90%を想定)、駐車場緑化、屋上緑化、壁面緑化(補助金額全体の約10%を想定) ④助成：上記③における設置費用の一部を助成(上限あり)						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 民有地緑化事業補助金	緑化面積	381	295	498	m ²
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	1,003	557	789	1,085
事業費	活動経費 民有地緑化事業補助金	974	472	753	1,000	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	29	85	36	85	千円
人件費	正規職員	0.4	0.4	0.3	0.2	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	3,409	3,427	2,521	1,664	千円
経営執行費	総経費(a + b)	4,412	3,984	3,310	2,749	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	特になし	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	特になし
------------------------	------	------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	(0.5) 活動実績である民有地緑化事業補助金は申請数や申請内容により変動するが、概ね1,000千円~500千円で推移している。
-----------------------	---

今後の事業の方向性	まちの緑化を進めるきっかけづくりの面からも補助制度は維持していく。
-----------	-----------------------------------

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	30	項目番号	3(6)
事務事業名	自然林保全事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

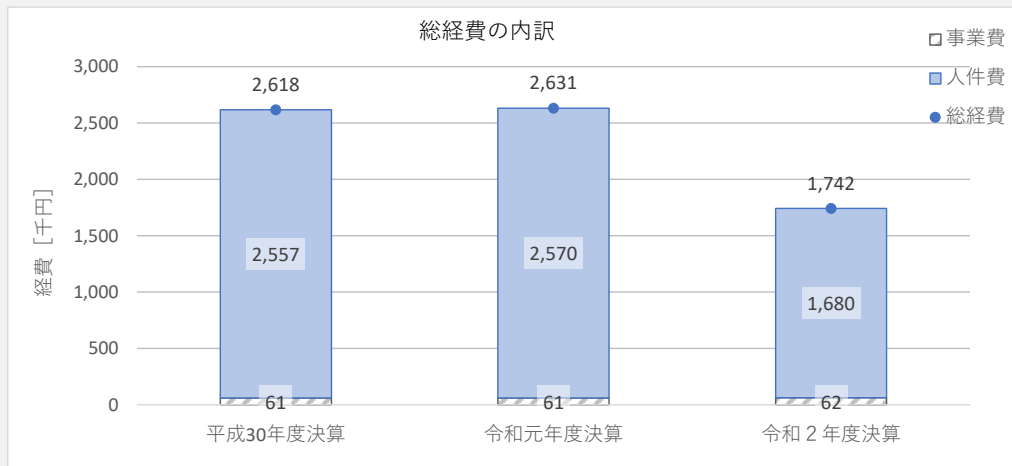
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	自然林保全制度要綱						
事業目的	平成12年度に実施された「よこすかの植生」調査により判明した自然植生のうち、民有地に現存する自然林を保全する						分野別計画
具体的な事業内容	市と自然林の土地所有者が締結した10年間の保全契約に基づき、市が土地所有者へ保全に対する支援金等を交付する。 ①契約締結者に対する奨励金の交付 年額: $[(\text{固定資産税} + \text{都市計画税}) \times 3 + (\text{当該土地面積} \times 2\text{円} / 1\text{m}^2)] \times 2$ ②保全に対する表彰 契約締結時及び契約更新時に表彰						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の経営資源に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	人件費	事業費：a 予算現額・支出済額	61	61	62	62
正規職員（再任用職員を含む）		0.3	0.3	0.2	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム）		0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）		0	0	0	0	千円
b 人件費		2,557	2,570	1,680	832	千円
	総経費（a + b）	2,618	2,631	1,742	894	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
1 保全契約した自然林…3地区 2 保全契約した自然林の面積…7,745㎡	1 保全契約した自然林…3地区 2 保全契約した自然林の面積…7,745㎡	1 保全契約した自然林…3地区 2 保全契約した自然林の面積…7,745㎡

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

対象となる自然林は3か所に限られているため、事業費の増減が生じることはない。
(0.5)

今後の事業の方向性

他の制度では守ることができない貴重な民有地の「自然林」が将来に向けて守られるため、今後も取り組みを継続していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

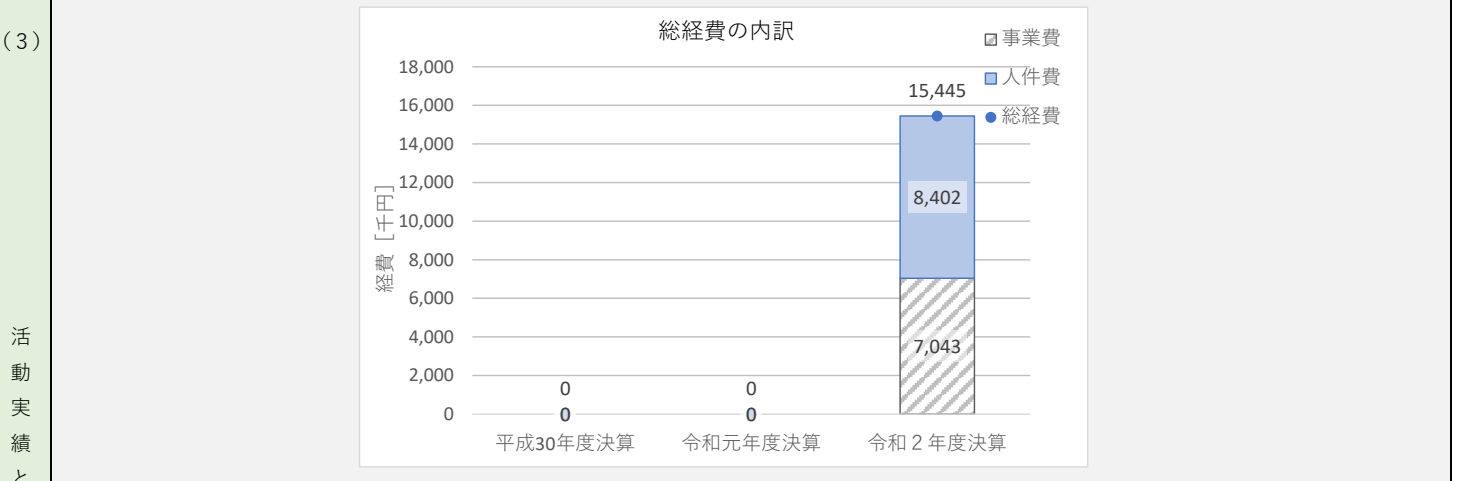
その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	30	項目番号	3(7)
事務事業名	みどりの愛護のつどい推進事業								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	全国「みどりの愛護」のつどいは、全国の公園緑地等の愛護団体等が一同に集い、広く都市緑化意識の高揚を図り、みどりを守り育てる国民運動を積極的に推進していくことを目的として毎年開催されている国家的式典。本つどいを本市で開催することにより、本市にとって大切なみどりを将来に継承するための意識の醸造を図る。						分野別計画	
具体的な事業内容	令和3年に本市で開催するための準備を、国土交通省、神奈川県と連携して行い、開催後の事務処理までを行う。							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	0	0	7,043	7,862	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.0	0.0	1.0	1.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	8,402	8,318	千円
	総経費（a + b）	0	0	15,445	16,180	千円



	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
活動実績と総経費の推移	特になし	(1)神奈川県と連携し誘致活動を実施 国へ開催申請を行い、本市での開催を決定	(1)実行委員会の設立・開催 (2)実施本部の設立・開催 (3)植樹木の選定・調達 (4)開催周知・啓発

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	・令和2年度から「全国『みどりの愛護』のつどい」の開催に向けた準備を本格的に開始したため。 (1.0)
今後の事業の方向性	・令和3年秋に「全国『みどりの愛護』のつどい」を開催し、その後の事務処理も本年度内に完了し、サンセットする。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	31	項目番号	4(1)
事務事業名	みどりの基金積立金								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

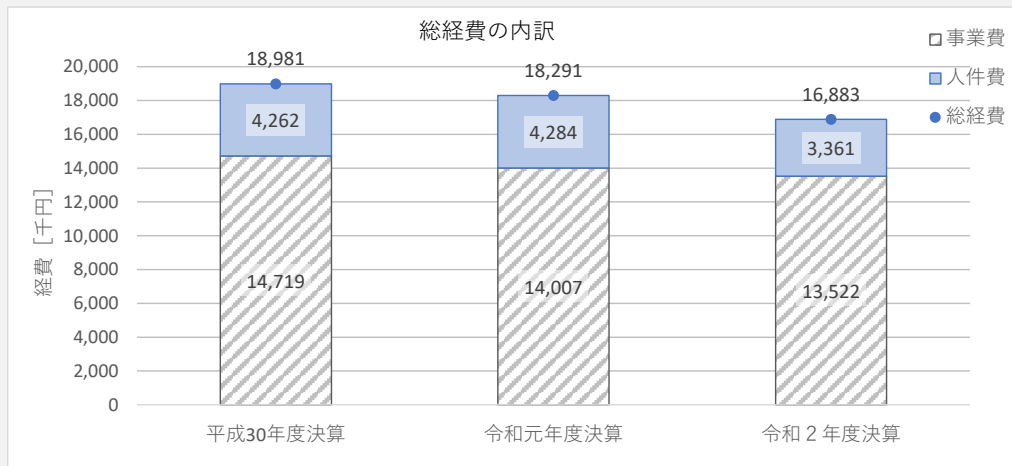
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	寄附金および公園内設置の自動販売機等の売上手数料をみどりの基金に積み立て、緑化推進施策の原資とする						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> みどりの基金運用による収益金、インターネットおよびふるさと納税による寄附金をみどりの基金に積み立てる 寄附金と同額の市債をみどりの基金に積み立てる 公園等に設置した自動販売機等の売上手数料をみどりの基金に積み立てる 						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
人件費	事業費：a 予算現額・支出済額	14,719	14,007	13,522	16,067	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	0.4	0.2	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	4,262	4,284	3,361	1,664	千円
	総経費（a + b）	18,981	18,291	16,883	17,731	千円

(3)



	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
①基金運用利子	17,304円	15,514円	15,103円
②チャリティークリック	960,000円	830,000円	720,000円
③ふるさと納税	2,221,000円	1,973,000円	3,126,000円
④一般寄附	79,275円	100,000円	0円
⑤自動販売機売上手数料等	11,441,033円	11,088,785円	9,660,969円
合計	14,718,612円	14,007,299円	13,522,072円
・基金残高(年度末)	181,350,844円	175,100,669円	168,293,677円

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）
 ふるさと納税が令和2年度に増えたものの、それ以外のチャリティークリックや自動販売機売上手数料は毎年減となっている。取崩額に対して積立額が少ないため、基金残高は毎年減となっている。
 (0.5)

今後の事業の方向性
 緑化推進事業の原資となっているため、今後も維持継続していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	32	項目番号	5(1)
事務事業名	一般事務費								所管部課名	環境政策部 自然環境共生課		

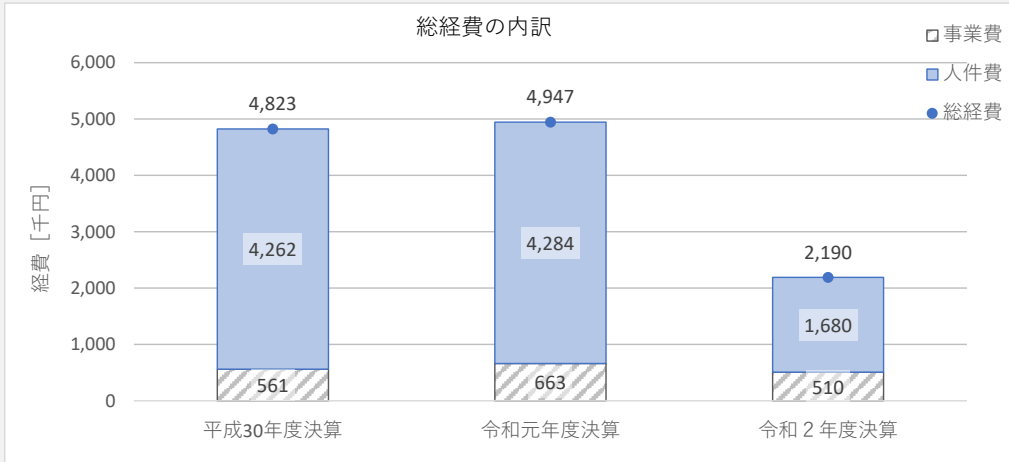
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	緑化推進業務等にかかる事務を行い、円滑な事業推進を図る						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進にかかる総括的事務 ・みどりの基金に関する事務(インターネットを利用した寄附にかかるホームページの運営管理ほか) ・県事業の自然保護奨励金交付にかかる委託事務 ・森林法関連業務にかかる事務 						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業執行に かかる経営資源	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	事業費	a 予算現額・支出済額	561	663	510	575
人件費	正規職員(再任用職員を含む)	0.5	0.5	0.2	0.1	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	4,262	4,284	1,680	832	千円
	総経費(a + b)	4,823	4,947	2,190	1,407	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
①自然保護奨励金申告件数…5件 ②チャリティークリック協賛企業数…4社	①自然保護奨励金申告件数…4件 ②チャリティークリック協賛企業数…6社	①自然保護奨励金申告件数…5件 ②チャリティークリック協賛企業数…4社

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)
 令和元年度は「みどりの愛護のつどい」にかかる視察や事前調査などの県外出張等に伴う旅費の執行が生じたため、最も執行額が高くなっている。
 (0.5)

今後の事業の方向性
 緑化推進事業等の円滑な事業推進を図るため、今後も維持継続していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	35	項目番号	2(1)
事務事業名	公園施設管理事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

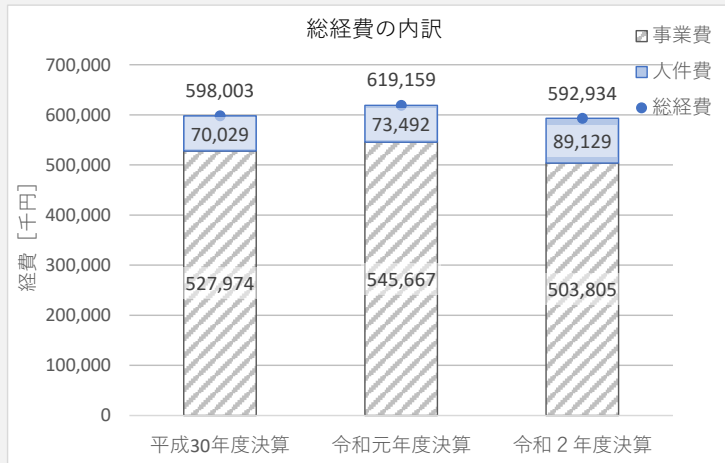
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	公園を安全で快適に利用できるように、管理公園(指定管理者へ委託する22公園及び水泳プール7施設を除く)の維持管理を行う。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会等が実施する公園清掃、トイレ清掃に対する報償金の支出 ・樹木剪定・除草等植物管理委託 ・公園清掃・保守管理等施設管理委託 ・電気、水道使用料、下水道使用料の支出 ・公園用地・機械器具等の借り上げ ・公園管理運用器具の整備 ・施設修繕用原材料の購入 ・ゴミ袋等公園管理用消耗品の購入 ・根岸公園事務所管理経費 ・公園遊具点検業務委託(長寿命化対策) 						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
人件費	事業費 : a 予算現額・支出済額	527,974	545,667	503,805	515,262	千円
	正規職員(再任用職員を含む)	9.0	9.0	11.0	11.0	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	8	7	7	8	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	70,029	73,492	89,129	88,283	千円
	総経費(a + b)	598,003	619,159	592,934	603,545	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
直営管理公園 515公園3,690,424㎡	直営管理公園 516公園3,826,037㎡	直営管理公園 517公園3,965,781㎡

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

今後の事業の方向性

継続

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	37	項目番号	2(2)
事務事業名	猿島公園管理事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	
	中柱	歴史遺産の活用促進					
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	猿島公園整備計画の基本理念である「エコミュージアム・猿島」としての保全と活用						
目標達成に必要なこと	国指定史跡として適切な維持管理を行いつつ、本市有数の集客資源としての活用を図る。						
具体的な事業内容	公園施設の維持管理、自然環境を生かした集客イベント等の実施						

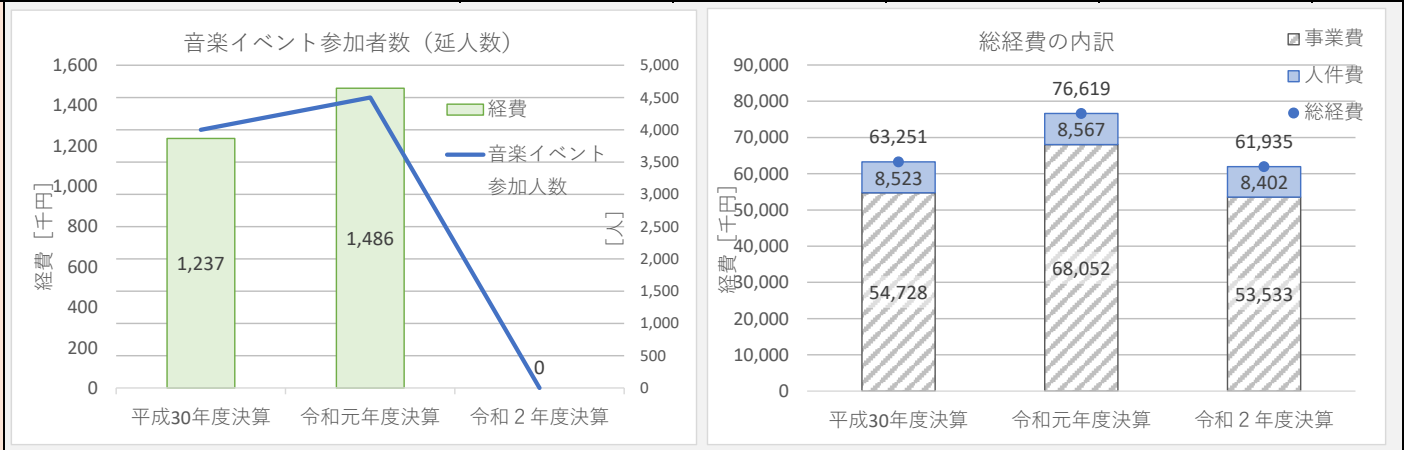
(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 音楽イベントの実施	音楽イベント参加人数	4,000	4,500	-	人
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費	a 予算現額・支出済額	54,728	68,052	53,533	66,721	千円
	活動経費 音楽イベントの実施	1,237	1,486	-	0	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	53,491	66,566	53,533	66,721	千円
人件費	正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	8,523	8,567	8,402	8,318	千円
経営執行費	総経費 (a + b)	63,251	76,619	61,935	75,039	千円

(4) 活動と事業実績・重要な項目の推移



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点
令和2年度はコロナウィルス感染症の影響によりイベント開催を見送った。	
今後の事業の方向性	平成27年以降、本市の集客拠点として集中的な広報やさまざまなイベント開催により広く周知され、年々来園者が増加しているなかで、来園者増に合わせたインフラ整備のほか、施設の老朽化や自然災害発生に伴う崩落や倒木などへの対応に、毎年当初想定以上の整備費用が必要となっている。市外からの来園者を継続的に呼び込むには、安全で快適な環境の提供が必須であり、一般財源の増額が見通せない中で、受益者負担の原則からも、入園料の見直しを検討している。また、管理については令和4年度より指定管理者制度に移行する。

令和3年度 事務事業等の総点検

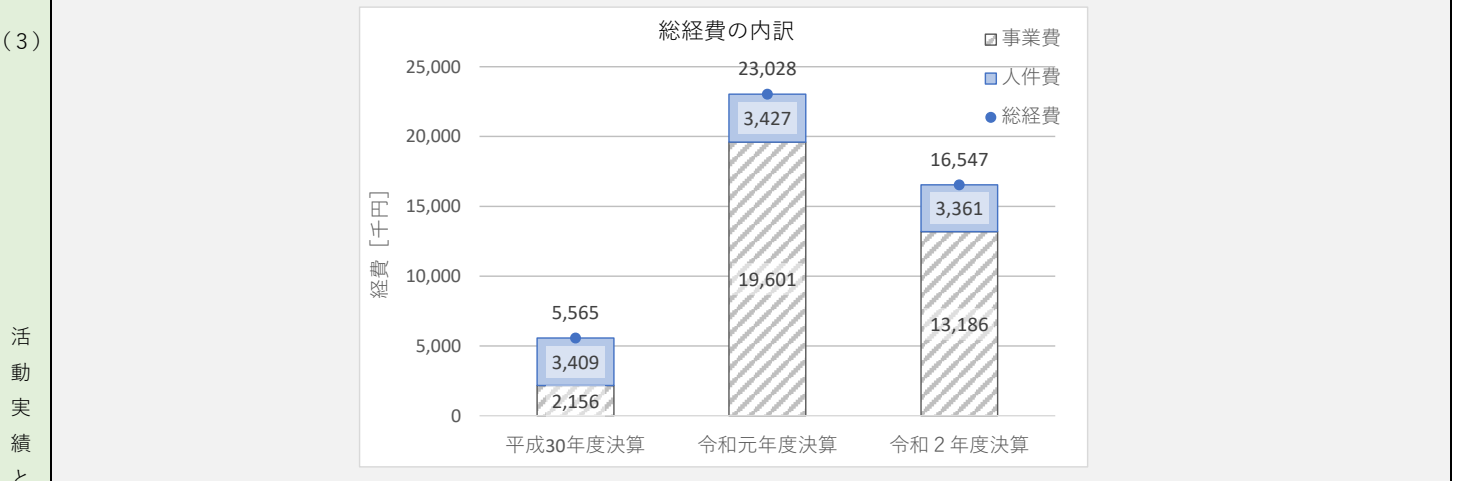
その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	37	項目番号	2(2)
事務事業名	猿島公園管理事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	近年の来園者の増加に伴い、既存トイレの浄化処理能力が不足していることから、新たにトイレを新築し、利用者に快適なサービスを提供するものである。						分野別計画
具体的な事業内容	既存トイレの負荷低減と不具合を生じている島内施設の再整備を行う。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の経営資源に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
人件費	事業費：a 予算現額・支出済額	2,156	19,601	13,186	13,590	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.4	0.4	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	3,409	3,427	3,361	3,327	千円
	総経費（a + b）	5,565	23,028	16,547	16,917	千円



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
	トイレ新築基本計画業務	猿島公園発電改修工事 トイレ新築工事実施設計に伴う測量業務	管理棟階段補修工事 トイレ新築工事実施設計業務 地質調査業務 猿島砲台跡遺構確認調査支援業務委託

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	R3トイレ新築工事発注に向けて各年度で必要な事業を行っているため。
今後の事業の方向性	猿島公園は、豊かな自然と歴史的建造物が残されている東京湾唯一の自然島で、平成27年3月には国の史跡に指定されており、横須賀市の貴重な歴史・自然財産である。また、観光資源として交流人口の増加にも寄与しており、BBQなどでも利用者のレジャーニーズを満たしている。来園者数はこの数年で約1.5倍になり、トイレを始め、利用者増に合わせた利便性を維持出来ない状態を迎えており、また、自然災害発生に伴う崩落などにより公開を一時的に中止している箇所も複数ある。市内外から来園者を継続的に呼び込むためにも、安全で快適な環境の提供が必須であり、本市有数の観光資源に見合った改修を行う。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	38	項目番号	2(3)
事務事業名	公園維持補修事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

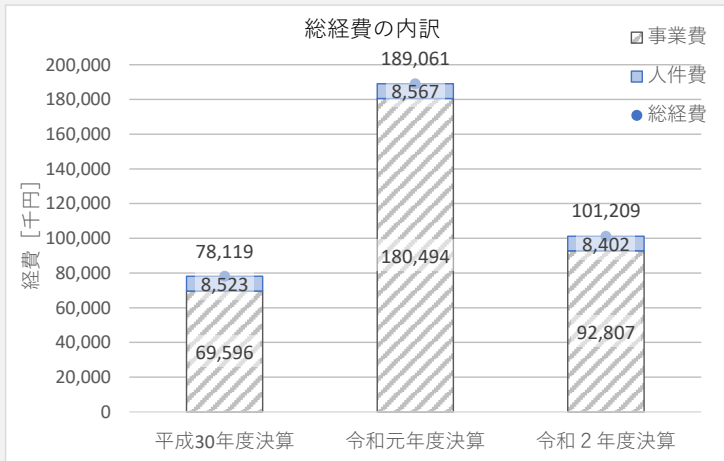
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	街区公園等の諸施設の維持修繕を行い、公園を安全かつ快適に利用できるようにする。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園等施設維持修繕 ・その他事務費 						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の経営資源に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
かかる事業執行に	事業費：a 予算現額・支出済額	69,596	180,494	92,807	98,493	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	1.0	1.0	1.0	1.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	8,523	8,567	8,402	8,318	千円
	総経費（a + b）	78,119	189,061	101,209	106,811	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・照明灯修繕 2件4,699,882円 ・トイレ修繕 37件4,115,553円 ・遊具/設備修繕 42件18,885,948円 ・その他施設修繕 22件10,116,474円 ・指定管理公園修繕 54件27,353,734円 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明灯修繕 2件5,935,048円 ・トイレ修繕 30件3,606,342円 ・遊具/設備修繕 28件11,258,615円 ・その他施設修繕 8件5,356,698円 ・指定管理公園修繕 65件47,014,177円 ・台風15号および19号にかかる災害復旧 103,436,873円 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明灯修繕 5件6,662,234円 ・トイレ修繕 14件1,741,663円 ・遊具/設備修繕 40件21,531,622円 ・その他施設修繕 21件20,630,889円 ・指定管理公園修繕 33件23,758,922円 ・災害復旧繰越 1件 18,447,000円

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

令和元年度は9月発生の台風15号と10月発生の台風19号による復旧を本事業費で実施したため決算額が突出した。

今後の事業の方向性

継続

令和3年度 事務事業等の総点検

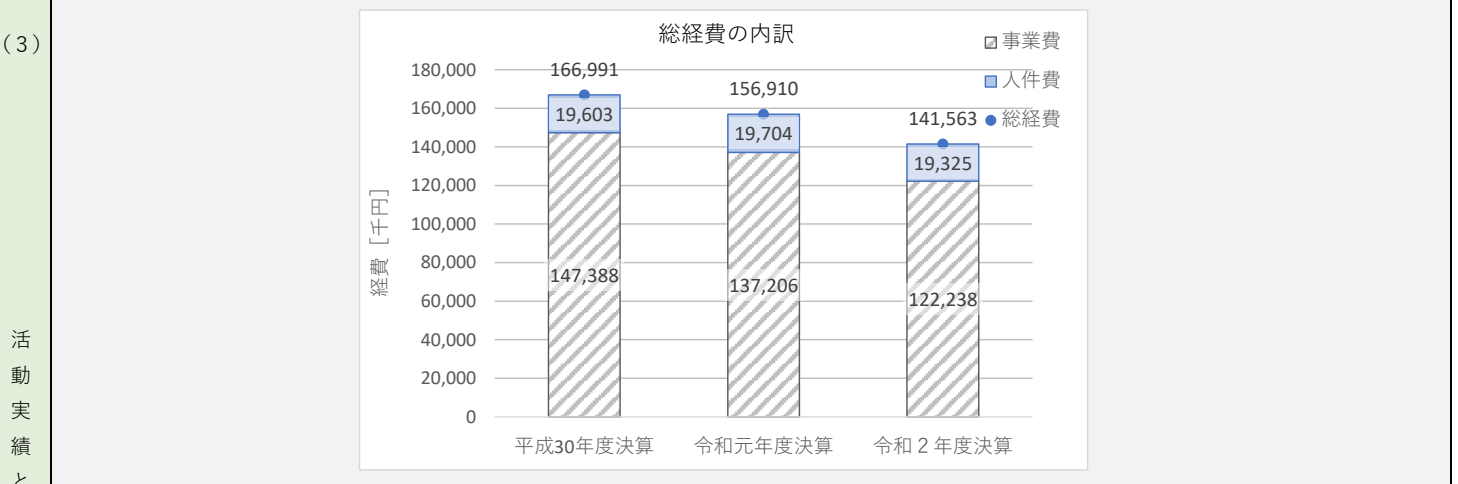
その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	38	項目番号	2(3)
事務事業名	公園維持補修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	既設公園及び緑地の諸施設の補修工事を行い、公園及び緑地を安全かつ快適に利用できるように維持保全する						分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設維持補修工事 基盤及び施設補修等 							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる経営資源に 関する 事業費	147,388	137,206	122,238	130,694	千円
人件費	19,603	19,704	19,325	19,131	千円
事業費 : a 予算現額・支出済額	147,388	137,206	122,238	130,694	千円
正規職員（再任用職員を含む）	2.3	2.3	2.3	2.3	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	19,603	19,704	19,325	19,131	千円
総経費 (a + b)	166,991	156,910	141,563	149,825	千円



平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
追浜公園じゃぶじゃぶ池改修工事 馬堀海岸公園プール施設改修工事 長沢5丁目第2都市林法面整備工事 貝山緑地法面整備工事 野比はなわ第2公園広場補修工事 ヴェルニー公園ボードウォーク改修工事 くりはま花の国公園施設補修工事 不入斗公園法面整備工事 神明公園園路改修工事 不入斗公園陸上競技場本部改修工事 馬堀海岸1丁目公園防護柵補修工事 愛宕山公園園路改修工事	くりはま花の国冒険ランド遊具撤去工事 不入斗公園法面整備工事 不入斗公園陸上競技場アウトフィールド補修工事 ハイランド4丁目公園広場補修工事 馬堀海岸公園防護柵改修工事 (仮) 燈明堂緑地駐車場舗装工事 佐原2丁目公園野球場補修工事 くりはま花の国アーチェリー場整備工事 長井海の手公園ほか1公園雨水排水設備その他整備工事	(仮称) 三笠ターミナルロータリー整備工事 くりはま花の国給水装置その他改修工事 馬堀海岸公園プールろ過設備改修工事 ハイランド4丁目公園広場補修工事 くりはま花の国落石防護擁壁設置工事 二葉2丁目公園広場補修工事 馬堀海岸公園駐車場整備工事 (仮称) 横須賀市近代化遺産ガイダンスセンター新築その他工事(インフラ整備の公園建設課負担分) (仮称) 横須賀市近代化遺産ガイダンスセンター新築その他電気設備工事(インフラ整備の公園建設課負担分) (仮称) 横須賀市近代化遺産ガイダンスセンター新築機械設備工事(インフラ整備の公園建設課負担分)

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	経費については、各年度毎の予算によるものであり、予算額に基づいて工事を発注しているため。
今後の事業の方向性	545公園の半数以上が供用開始から30年以上経過し、施設の補修・更新は今後も継続的に進めていく必要がある。利活用の状況や人口流動等を考慮し、各公園へ効果的な配分ができるよう配慮し、事業規模の拡大を抑えつつ継続していく。予算要求時に予算の一部を繰越明許の設定を行い、工事の平準化に取り組む。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	39-40	項目番号	2(4)
事務事業名	公園管理委託事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

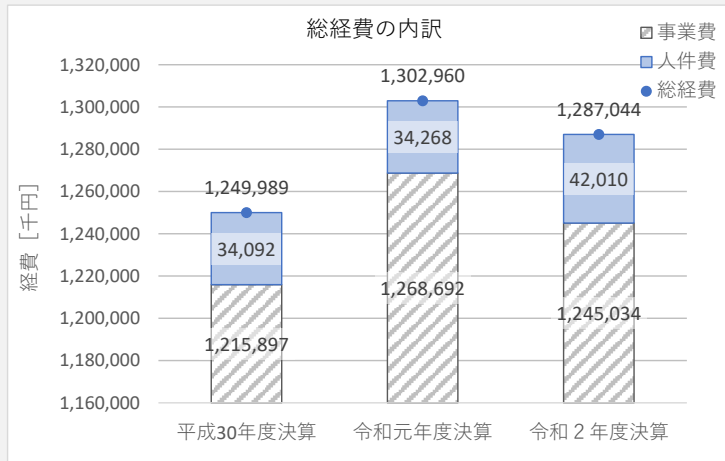
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	大規模な公園施設において指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウの活用や経費削減などを通して市民サービスの向上を図りつつ、公園施設の管理運営を行う。						分野別計画
具体的な事業内容	指定管理事業(指定管理者制度による公園の維持管理) ①追浜公園ほか2箇所 ②不入斗公園ほか4箇所 ③佐原2丁目公園ほか3箇所 ④田浦梅の里ほか4箇所 ⑤三笠公園ほか1箇所 ⑥くりはま花の国ほか1箇所 ⑦公園水泳プール(馬堀海岸公園ほか6箇所) ⑧長井海の手公園ほか1箇所						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考:令和2年度予算	単位
経営資源	事業費 : a 予算現額・支出済額	1,215,897	1,268,692	1,245,034	1,245,189	千円
	正規職員(再任用職員を含む)	4.0	4.0	5.0	5.0	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	34,092	34,268	42,010	41,590	千円
	総経費(a + b)	1,249,989	1,302,960	1,287,044	1,286,779	千円

(3)



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により運動施設の一時休止があり、公園水泳プールを開設しなかったため委託料を減額した。

今後の事業の方向性

令和4年3月31日で指定管理期間が終了する21施設と新規5公園(野比かがみ田緑地・走水水源地公園・旗山崎公園・平和中央公園・猿島公園)について、令和3年度中に次期指定管理事業者を選定する。長井海の手公園と荒崎公園は令和5年よりリニューアルオープンし、新規指定管理事業者が運営することとなる。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	41	項目番号	2(5)
事務事業名	チビッコ広場管理事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

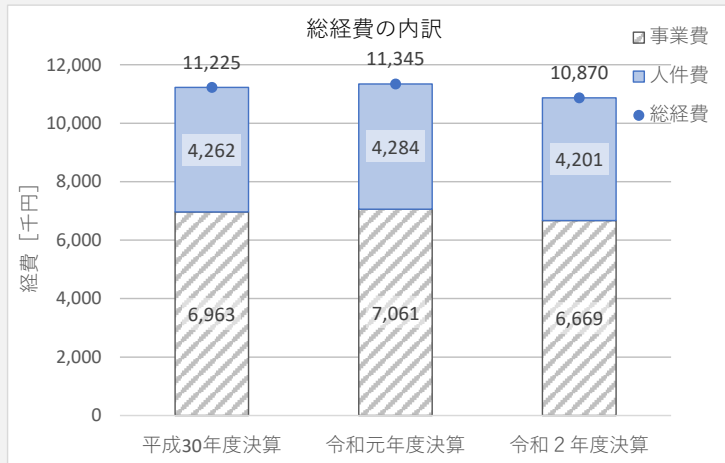
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の子供の健全な育成を図るため、広場の管理、整備を行う町内会等に対し、管理費交付金及び整備費交付金を、並びに広場として使用承諾をした土地所有者に対し報償金を交付する。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者への報償金の支出 ・管理費交付金の支出 ・広場の整備にかかる整備費交付金の支出 						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	6,963	7,061	6,669	7,141	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	0.5	0.5	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	4,262	4,284	4,201	4,159	千円
総経費（a + b）	11,225	11,345	10,870	11,300	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
広場数21か所 ・管理費交付金21広場2,320,000円 ・整備費交付金1広場300,000円 ・土地提供者報償金19広場4,342,700円	広場数21か所 ・管理費交付金21広場2,350,000円 ・整備費交付金2広場520,000円 ・土地提供者報償金19広場4,190,900円	広場数21か所 ・管理費交付金21広場2,330,000円 ・整備費交付金1広場281,600円 ・土地提供者報償金19広場4,057,200円

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

管理費交付金は遊具数による増減、土地提供者報償金は算定根拠となる税率の変動による増減。整備費交付金は修繕案件の有無、状況により増減。

今後の事業の方向性

本事業は昭和49年にチビッコ広場整備費交付金等交付要綱を設置し継続してきたが、その後住宅開発等により街区公園が開設された地域があることや、少子高齢化の進捗もあり、事業開始当初と状況が大きく変動している。令和3年は、土地所有者の申し出による広場解消が1件、市の公園整備による広場解消が1件あり、計19広場となる。チビッコ広場制度の適切な運用については、公園配置適正化計画の中で検討することとなっている。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	41	項目番号	2(6)
事務事業名	公園用地整理事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

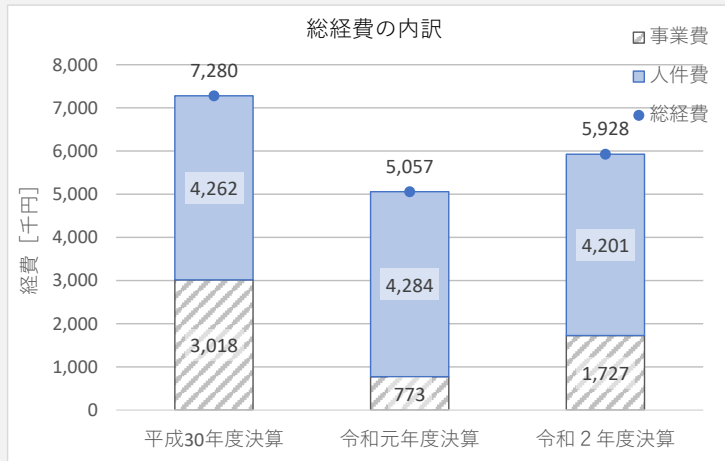
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	都市公園法						
事業目的	公園台帳の整理、公園図面の作成						分野別計画
具体的な事業内容	測量業務委託(立ち合いを含む)						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
1年間の事業執行に かかる経営資源に 関する 人件費					
事業費：a 予算現額・支出済額	3,018	773	1,727	2,553	千円
正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	0.5	0.5	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	4,262	4,284	4,201	4,159	千円
総経費（a + b）	7,280	5,057	5,928	6,712	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
公園数544、整備済み415、未整備129 (整備率76.3%)	公園数545、整備済み415、未整備130 (整備率76.1%)	公園数546、整備済み416、未整備130 (整備率76.2%)

活動実績と総経費の推移の分析
(増減理由等)

年度により調査測量が必要となる案件が異なるため実施額は平準にならない。

今後の事業の方向性

継続

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	41	項目番号	2(7)
事務事業名	公園施設予約システム事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

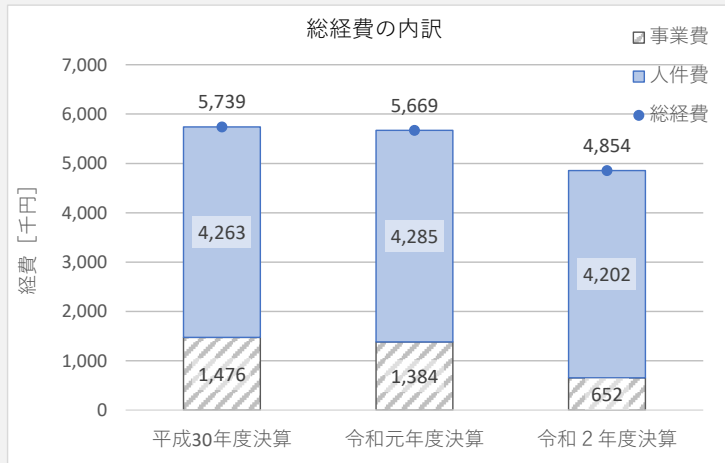
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	公園運動施設(有料公園施設)の予約に際し、より便利に利用していただくため、新システムを構築し、自宅のパソコンや携帯電話からの施設予約を可能にするほか、公園施設の情報をリアルタイムで市民に提供する						分野別計画
具体的な事業内容	事業対象公園: 8公園(追浜公園、不入斗公園、はまゆう公園、大津公園、光の丘公園、佐原2丁目公園、西公園、湘南国際村西公園) 事業対象施設: 野球場、庭球場、運動場、サッカー場 施設予約システム用管理端末配置箇所: 9箇所 (上記8公園+公園管理課) 事業の概要: 基本の利用時間枠(2時間)の利用について、利用者(登録者)は利用月の2か月前にシステムを介して予約を行う。						

(2) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考: 令和2年度予算	単位
経営資源	事業費 : a 予算現額・支出済額	1,476	1,384	652	652	千円
	正規職員(再任用職員を含む)	0.5	0.5	0.5	0.5	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	1	1	1	1	千円
	b 人件費	4,263	4,285	4,202	4,160	千円
	総経費(a + b)	5,739	5,669	4,854	4,812	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)

令和2年度より、管理用端末とプリンターの借上料を情報政策課(当時)が一括で支払うこととなったため。

今後の事業の方向性

継続

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	41	項目番号	2(8)
事務事業名	一般事務費								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

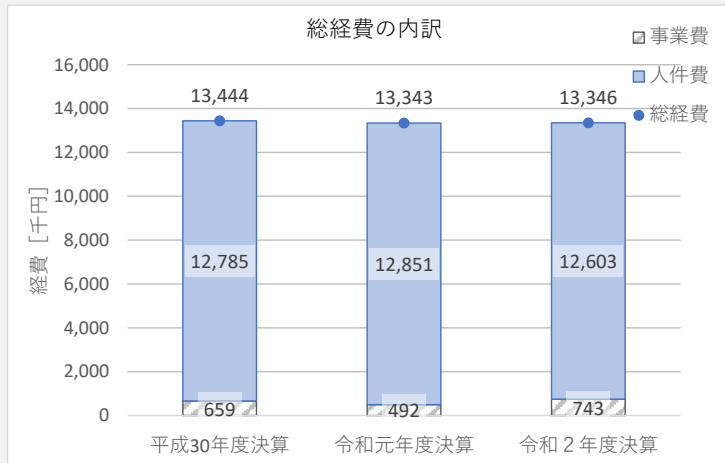
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	公園管理に要する施設維持管理等以外の一般的な事務費全般。						分野別計画
具体的な事業内容	公園管理業務にかかる講習会等のための参加にかかる経費、課内消耗品や参考図書等の購入。公園関連団体への負担金の支出。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	659	492	743	788	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	1.5	1.5	1.5	1.5	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	12,785	12,851	12,603	12,477	千円
総経費（a + b）	13,444	13,343	13,346	13,265	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
負担金等 405,200円(うち受講料9講座延べ12名) その他事務費 254,194円	負担金等 224,900円(うち受講料4講座延べ11名) その他事務費 267,501円	負担金等 469,000円(うち受講料6講座延べ18名) その他事務費 273,962円

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

事業費の主なものは、根岸公園事務所で直営で施設修繕に従事する職員の法定講習に関する費用であり、正規職員4名と年度職員9名が対象となる。このうち年度職員は入替りに応じて受講が必要となるため年度により決算額が増減する。

今後の事業の方向性

継続(事業のうち安全衛生教育等講習については労働安全衛生法に準拠した必須の講習である。)

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	4	説明資料	42	項目番号	3(1)
事務事業名	猿島基金積立金								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

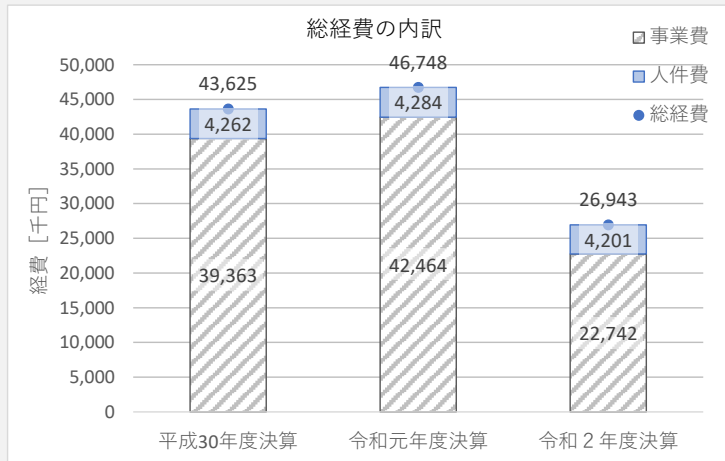
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	猿島公園の入園料を平成27年度から徴収し、ふるさと納税による猿島基金への寄付も同年から開始した。これらの歳入については、トイレの新設などの大規模改修や施設の維持管理の財源として積み立て、受益者負担の観点から財政負担を軽減することが目的である。						分野別計画
具体的な事業内容	公園入園料、寄付金、預金利子の運用管理						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	39,363	42,464	22,742	33,706	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	0.5	0.5	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	4,262	4,284	4,201	4,159	千円
	総経費（a + b）	43,625	46,748	26,943	37,865	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
入園者数 210,214人(うち有料入園者数195,257人)	入園者数 225,027人(うち有料入園者数201,271人)	入園者数 117,723人(うち有料入園者数108,857人)

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により閉園期間があり、全体的に入園者数が減少し、基金の積立実績も大幅に減少となった。

今後の事業の方向性

猿島公園は、本市の集客拠点として集中的な広報やさまざまなイベント開催により広く周知され、年々来園者が増加しているなかで、来園者増に合わせたインフラ整備のほか、施設の老朽化や自然災害発生に伴う崩落や倒木などへの対応に、毎当初想定以上の整備費用が必要となっている。市外からの来園者を継続的に呼び込むには、安全で快適な環境の提供が必須であり、一般財源の増額が見通せない中で、受益者負担の原則からも、入園料の見直しが必要である。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	43	項目番号	2
事務事業名	長井海の手公園施設改修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

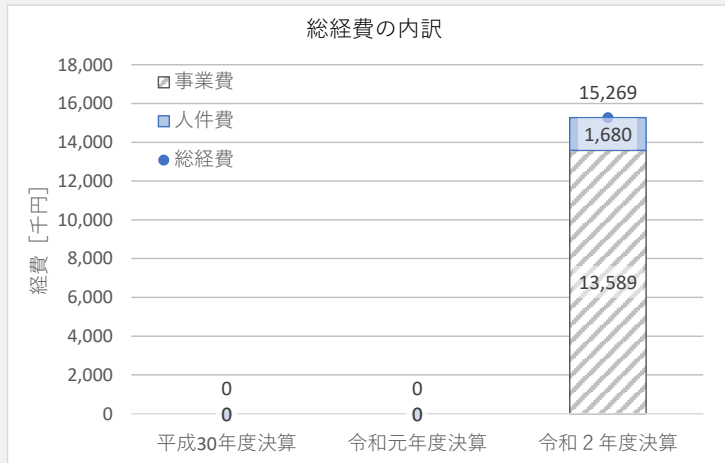
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	都市公園法						
事業目的	本公園を隣接地と一体的に活用し、地域の観光交流拠点の機能拡充を目指している中、官民連携による隣接地活用事業と連動し、既設施設の適切な更新を推進するもの						分野別計画
具体的な事業内容	芝そり改修 滑走部人工芝 A=128.0㎡ 周辺部人工芝 A=83.8㎡						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費 : a 予算現額・支出済額	0	0	13,589	13,618	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	0.0	0.0	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	0	0	1,680	1,664	千円
総経費 (a + b)	0	0	15,269	15,282	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
特になし	特になし	芝そりゲレンデ改修工事

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

この事業は令和2年度から始めた事業である。別途令和2年度においては、令和元年度の長井隣接地活用事業における、国有地取得の国費残金を利用して、既存施設の更新について公園リニューアル事業の事業費で長井海の手公園空調設備改修工事、長井海の手公園休憩施設改修工事を行っている。

今後の事業の方向性

既存施設の老朽化が進んでおり、計画的な更新が利用者だけでなく、事業者からも求められている。既存施設を再配置（移転）や廃止を視野に入れ、今後10年、20年先を見据えた適切な維持管理が求められる。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	43	項目番号	2ほか
事務事業名	長井海の手公園隣接地活用事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和4年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	横須賀の海が感じられる場所での新たなにぎわいづくり						
	小柱	①西海岸の魅力向上						
目標	「西地区(長井地区)」の「活性化」 「長井海の手公園(ソレイユの丘)」の「魅力」と「集客力」の向上 「ソレイユの丘」のブランド力強化(価値の付加)							
目標達成に必要なこと	地元及び公園利用者、指定管理者との合意形成							
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する国有地3.3haを取得し、当該都市公園の機能拡充を図るもの 拡充にあたり、民間事業者の「資本金」「経営企画力」「技術的能力」を最大限活用することを目的にP-PFIを活用し、公募により公園の設計・整備運営維持管理を行う事業者の選定を行う 							

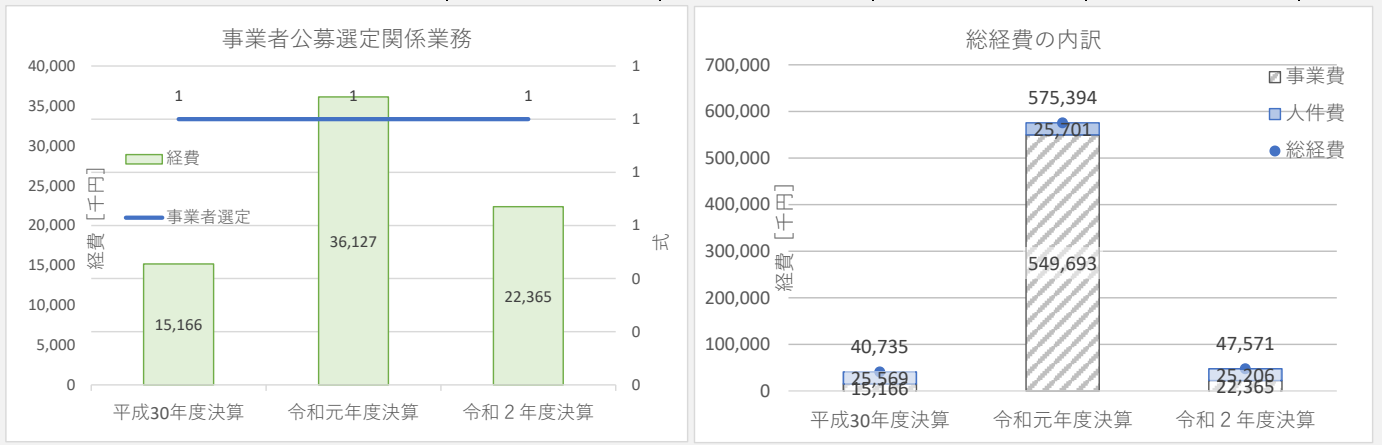
(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 事業者公募選定関係業務	事業者選定	1	1	1	式
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② 国有地取得	-	-	1	-	件
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考: 令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	15,166	549,693	22,365	22,646
事業費	活動経費 事業者公募選定関係業務	15,166	36,127	22,365	22,646	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	0	513,566	0	0	千円
人件費	正規職員	3.0	3.0	3.0	3.0	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	25,569	25,701	25,206	24,954	千円
経営執行費	総経費(a + b)	40,735	575,394	47,571	47,600	千円

(4) 活動と事業実績・重要な経費の推移



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	特になし	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	令和元年度 国有地取得、測量調査、事業手法検討、公募条件検討、基本計画(案)策定 令和2年度 事業者公募・選定		
今後の事業の方向性	長井海の手公園・ソレイユの丘は、PFI方式により整備・運営が行われた全国初の都市公園であり、PFI事業期間(H17~H26)及び指定管理期間(H27~R4)と複数の手法で民間活力を導入してきた都市公園で、令和3年3月25日に本事業に係る、Park-PFI、指定管理者制度、DB(設計施工一括契約)方式など、今後取り交わす様々な認定、許可、指定等に向けた根本的な契約として、市とエリアマネジメント横須賀共同企業体(全9社)がパートナーシップを構築し、事業の早期着手を図るため、基本協定を締結し、令和4年度に整備完了を予定している。		

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	45	項目番号	3
事務事業名	追浜公園施設改修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

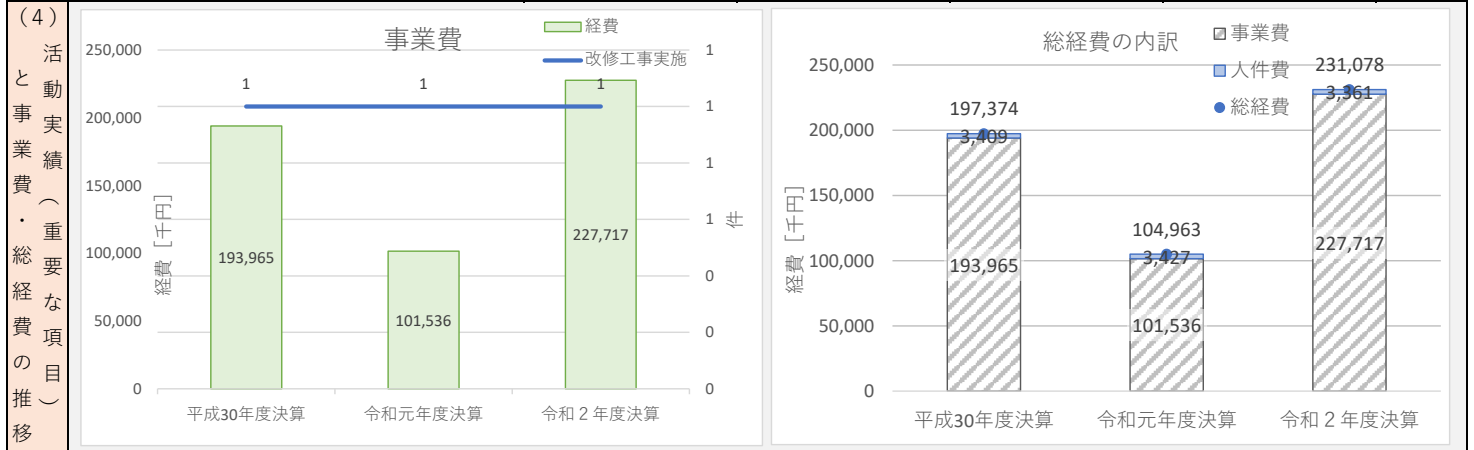
実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	都市公園法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	②追浜地域のスポーツを核としたまちづくり					
目標	追浜公園をスポーツ交流拠点とした、本市のスポーツ振興および地域の活性化。						
目標達成に必要なこと	追浜公園、特に横須賀スタジアムの継続的な改修						
具体的な事業内容	横須賀スタジアムナイター照明設備改修工事 追浜公園駐車場防球ネット拡張工事						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
①改修工事実施	0	1	1	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②0	0	0	0	0	0
③0	0	0	0	0	0

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 間 の 事 業 費 の 事 業 費 に 関 する 経 費 の 行 動 内 容	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	a 予算現額・支出済額	193,965	101,536	227,717	229,150	千円
	活動経費 改修工事実施	193,965	101,536	227,717	229,150	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	3,409	3,427	3,361	3,327	千円
総経費 (a + b)	197,374	104,963	231,078	232,477	千円	



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
--------------------------	------	--------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	老朽化への対応やプロ野球の開催のために必要な水準を保つため、必要な工事を順次予算措置し、実施している状況		
今後の事業の方向性	横須賀スタジアムは施設の老朽化に伴い各所に不具合が生じており、野球の試合の開催、運営に支障が出てきている。施設を安定的に利用して頂くため、継続的な改修を行い、本市のスポーツ交流拠点として、スポーツ振興および地域の活性化を目指す。		

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	45	項目番号	4
事務事業名	中央公園整備事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	歴史遺産の活用促進						
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進						
目標	「ルートミュージアム」の拠点として整備し、新たな周遊ルートの整備による集客の促進を図る							
目標達成に必要なこと	地元調整、補助金の取得							
具体的な事業内容	中央公園をルートミュージアムの拠点の1つとして、「平和・文化・歴史」をコンセプトとした横須賀を象徴する公園として、交流拠点としての機能強化を目指した公園の再整備を行うもの							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事・工事委託・業務委託	工事・工事委託・業務委託	0	4	9	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	0	85,998	397,517	400,981
事業費	活動経費 工事・工事委託・業務委託	0	85,998	397,517	400,981	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.0	0.4	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	3,427	3,361	3,327	千円
経営執行費	総経費 (a + b)	0	89,425	400,878	404,308	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
--------------------------	------	--------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	R1 中央公園測量業務、実施設計、平和モニュメントデザイン設計業務、平和モニュメント撤去工事 R2 中央公園リニューアル工事、広場改修工事、駐車場整備工事、トイレ建替工事、平和モニュメント設置工事、米が浜砲台跡調査業務委託4件
------------------------	--

今後の事業の方向性	R3 リニューアルオープン、みどりの愛護(予定)
-----------	--------------------------

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	45	項目番号	4
事務事業名	はまゆう公園施設改修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

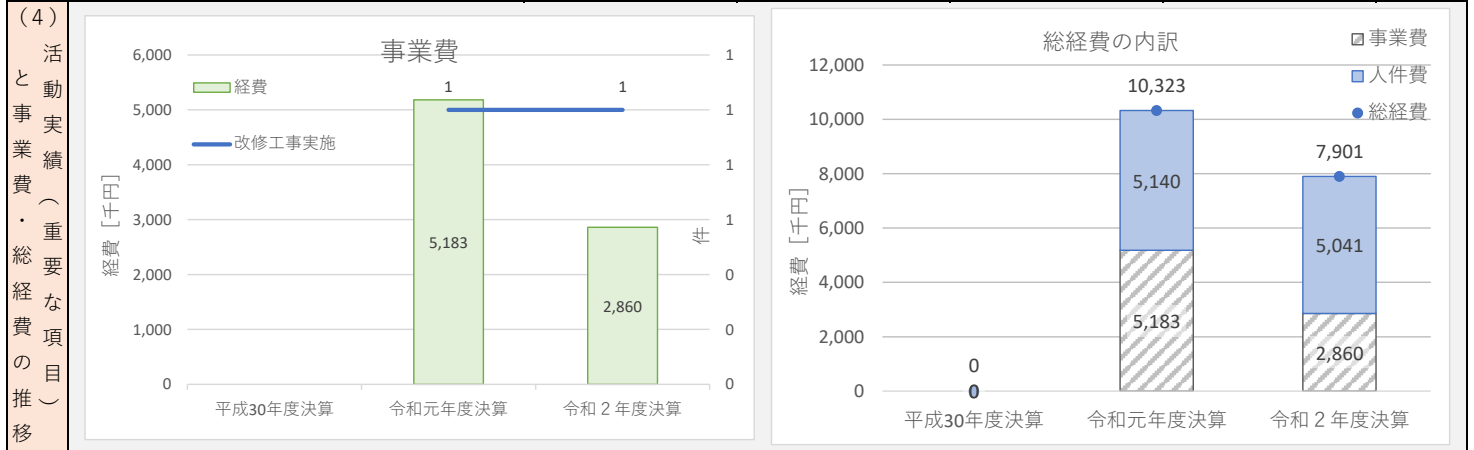
実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和4年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進						
	小柱	②大規模スポーツ施設等の誘致・運動公園等の充実						
目標	利用者のニーズに対応した魅力的で安心で安全な運動施設を提供する事により、本市のイメージアップと市民サービスの向上を図る。							
目標達成に必要なこと	はまゆう公園のサッカーグラウンドを人工芝へと改良する 駐車場の有料化に向けた整備を実施する							
具体的な事業内容	はまゆう公園施設改修実施設計業務							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 改修工事実施	0	0	1	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② 0	0	0	0	0	0
③ 0	0	0	0	0	0

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 間 の 事 業 費 の 事 業 費 に 関 する 経 費 の 内 訳	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	a 予算現額・支出済額	0	5,183	2,860	2,860	千円
	活動経費 改修工事実施	0	5,183	2,860	2,860	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
	正規職員	0.0	0.6	0.6	0.6	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	5,140	5,041	4,991	千円
	総経費 (a + b)	0	10,323	7,901	7,851	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	改修工事の実施に向けて順次必要な調査、設計委託を実施し、令和4年度の改修工事実施を予定している。		
今後の事業の方向性	はまゆう公園サッカーグラウンドを現在のクレイ舗装から人工芝に改修する工事を行う。 また、駐車場有料化に向けた整備を実施する。 令和4年度 人工芝改修工事、駐車場改修工事		

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	47	項目番号	4
事務事業名	久里浜1丁目公園グラウンドほか整備事業(継続事業)								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

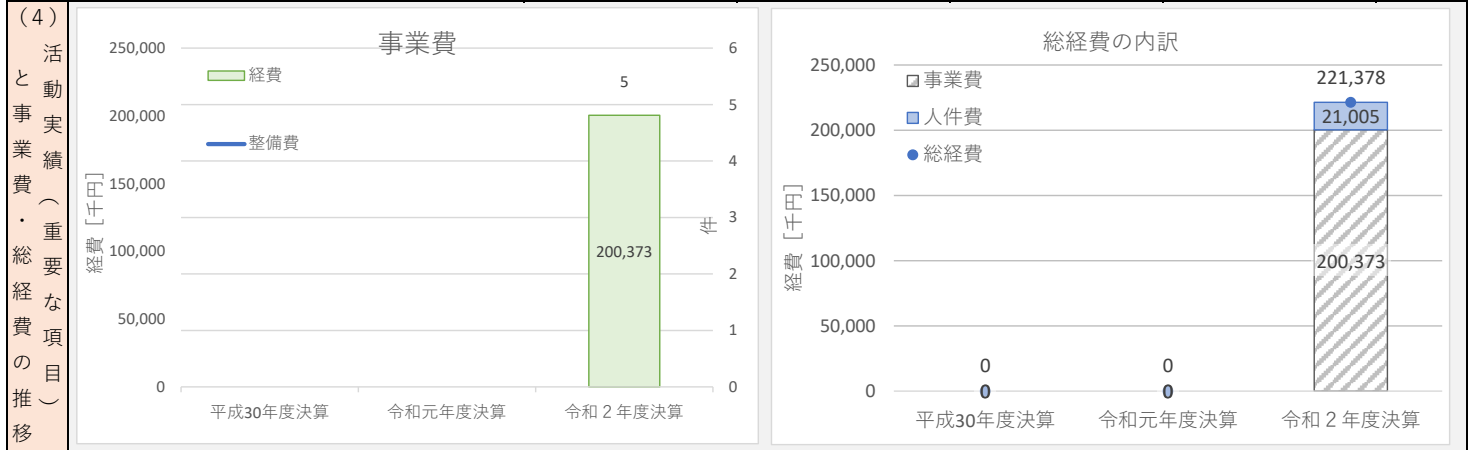
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進						
	小柱	⑤久里浜地域のスポーツを核としたまちづくり						
目標	スポーツを核としたまちづくりを推進し、市外からの集客の促進、地域の活性化を図る。							
目標達成に必要なこと	市民がプロスポーツと触れ合う機会を充実させる。誇りや愛着を持てる環境を充実させる。							
具体的な事業内容	久里浜1丁目公園内建築物等解体工事その1 久里浜1丁目公園内建築物等解体工事その2設計業務委託 久里浜1丁目公園施設撤去工事(継続) 久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事その1(継続) 久里浜1丁目第2公園整備工事(継続)							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果(重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 公園整備実施	0	0	0	5	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② 0	0	0	0	0	0
③ 0	0	0	0	0	0

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考: 令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	0	0	200,373	200,373
事業費	活動経費	0	0	200,373	200,373	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.0	0.0	2.5	2.5	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	21,005	20,795	千円
経営執行費	総経費(a + b)	0	0	221,378	221,168	千円



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	特になし	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	令和2年度から工事に着手している。		
今後の事業の方向性	令和4年2月 久里浜1丁目第2公園供用開始 令和4年10月 久里浜1丁目公園 一部供用開始 令和5年5月 久里浜1丁目公園 全面供用開始		

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	47	項目番号	5
事務事業名	くりはま花の国施設改修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

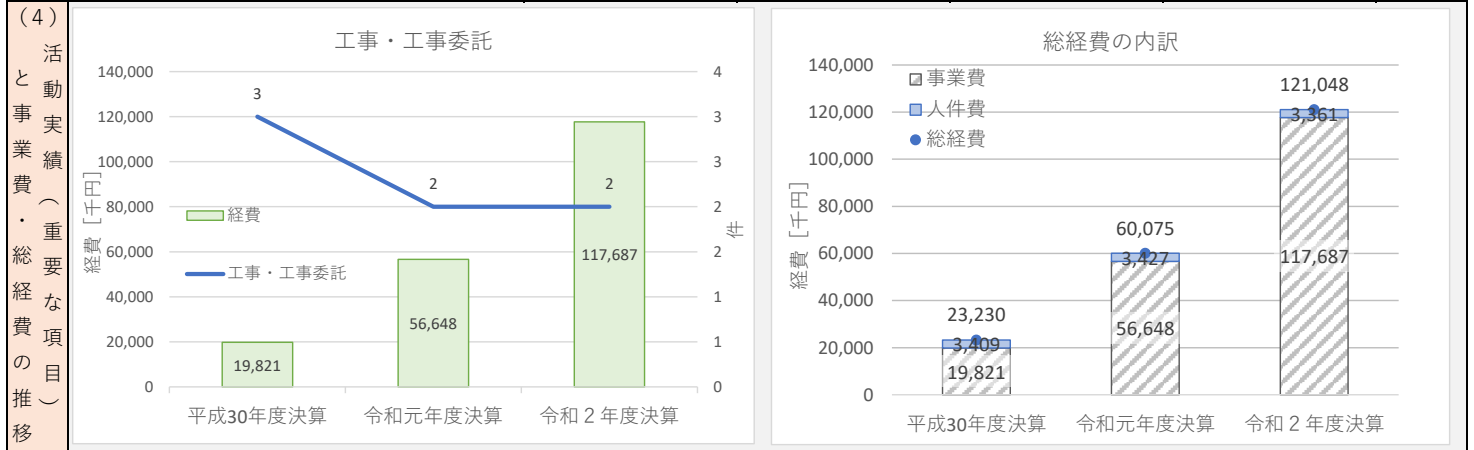
実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	都市公園法						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興 整備・充実				分野別計画	
	中柱	出産・子育て環境の充実					
	小柱	④体験・遊びの場の充実					
目標	くりはま花の国の改修を行い、利用者に快適かつ緊急時に避難できる場所としての公園を提供する						
目標達成に必要なこと	地元及び公園利用者との合意形成、補助金の取得						
具体的な事業内容	くりはま花の国フィールドアーチェリー場隣接部に津波避難路を設置するものである。 対象とする地域は津波ハザードマップにて明浜小学校(5.0m)、久里浜小学校(5.0m)及び神明小学校(10.0m)の浸水区域となっていることから、高台の「くりはま花の国」ハープ園に至る斜面地に約100mの避難路を設けるものである。						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事・工事委託	工事・工事委託	3	2	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	19,821	56,648	117,687	117,687
事業費	活動経費 工事・工事委託	19,821	56,648	117,687	117,687	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	3,409	3,427	3,361	3,327	千円
経営執行費	総経費 (a + b)	23,230	60,075	121,048	121,014	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
--------------------------	------	--------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	H30 津波避難階段測量業務、基本設計業務、伐木工事 R1 津波避難階段実施設計、冒険ランド大型遊具整備工事 R2 冒険ランド大型遊具整備工事(事故繰越)、津波避難階段整備工事 R3 津波避難階段整備工事(明許繰越)
今後の事業の方向性	R3に津波災害時に円滑な避難が可能となるよう避難経路を整備完了。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6
事務事業名	公園リニューアル事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

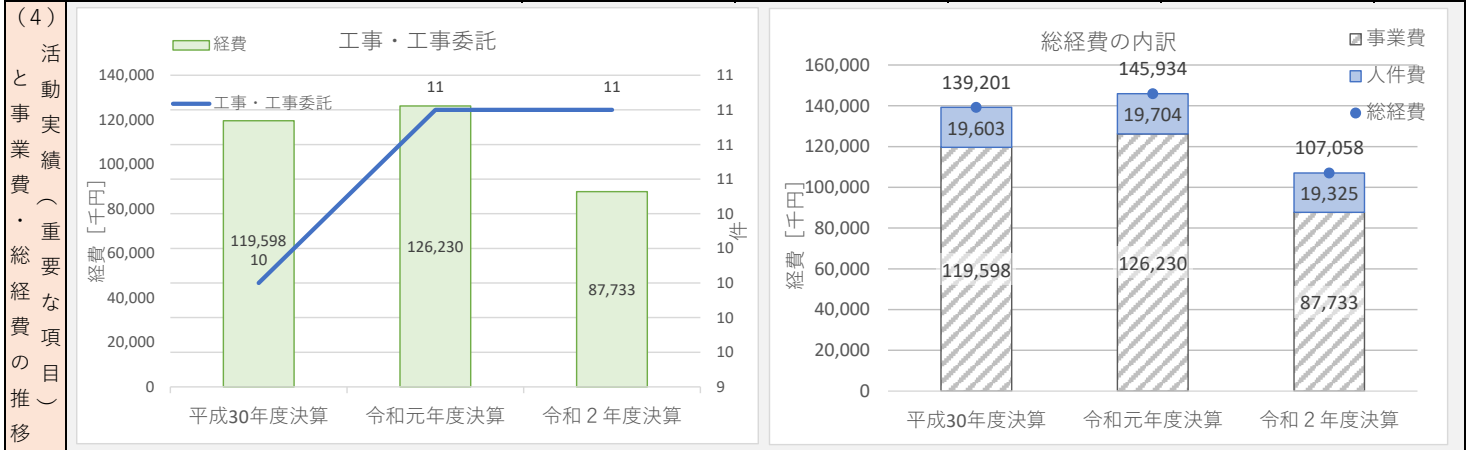
実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	都市公園法						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興 整備・充実				分野別計画	
	中柱	出産・子育て環境の充実					
	小柱	④体験・遊びの場の充実					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する						
目標達成に必要なこと	地元調整、補助金の取得						
具体的な事業内容	桜が丘2丁目公園ほか2公園ベンチ設置工事、ハイランド2丁目第2公園ほか1公園遊具設置工事 大津1丁目公園ほか2公園時計設置工事、池田第3公園遊具設置工事 秋谷1丁目公園ほか2公園遊具設置工事、長井海の手公園空調設備改修工事 馬堀海岸2丁目第2公園遊具設置工事、坂本公園遊具設置工事 森崎5丁目公園ほか1公園遊具設置工事、長井海の手公園休憩施設改修工事、田の浦公園測量業務						

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事・工事委託	工事・工事委託	10	11	11	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 か 間 の 事 業 費 の 事 業 執 行 費 に 関 する 資 源	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	a 予算現額・支出済額	119,598	126,230	87,733	95,220	千円
	活動経費 工事・工事委託	119,598	126,230	87,733	95,220	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
	正規職員	2.3	2.3	2.3	2.3	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	19,603	19,704	19,325	19,131	千円
	総経費 (a + b)	139,201	145,934	107,058	114,351	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
--------------------------	------	--------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	R2は防球ネット整備などの高額事業の先送り
------------------------	-----------------------

今後の事業の方向性	誰もが安全で安心して利用できる公園施設を目指し、トイレを中心とした公園のバリアフリー化、老朽化した遊具の改修、公園施設の充実を実施することにより、横須賀市のイメージアップをはかるとともに、現代の多様化する利用者のニーズに対応した魅力的で安心して安全な施設を提供し、市民サービスの向上を図る。
-----------	---

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6
事務事業名	走水低砲台跡整備事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

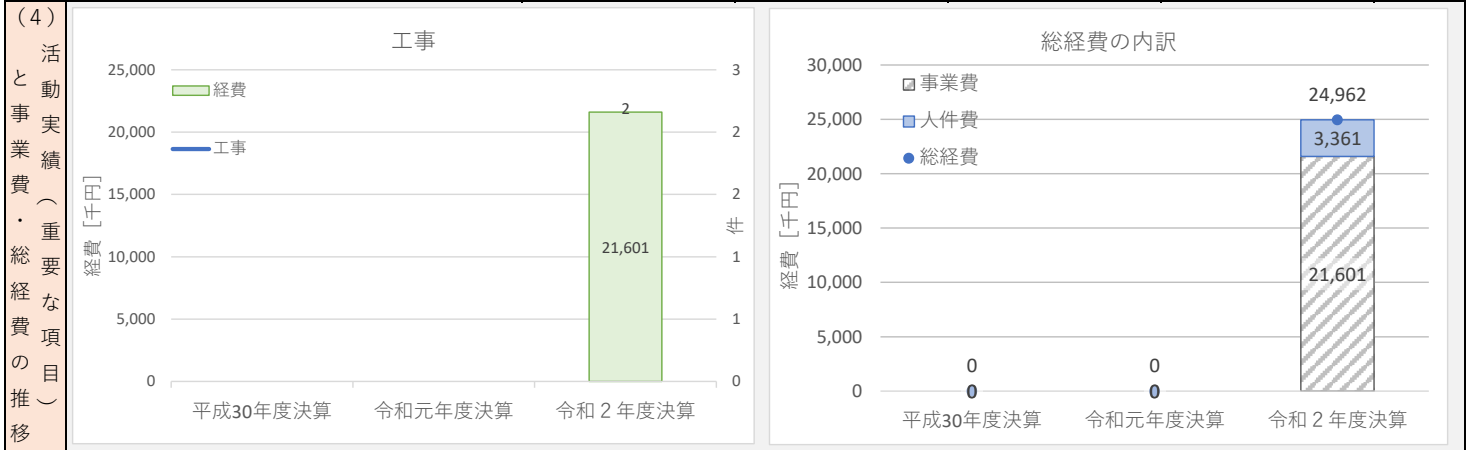
実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和2年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	歴史遺産の活用促進						
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進						
目標	「ルートミュージアム」の拠点として整備し、新たな周遊ルートの整備による集客の促進を図る							
目標達成に必要なこと	隣接地権者、観光協会および教育委員会との合意形成、補助金の取得							
具体的な事業内容	観光資源として走水低砲台を活用するために、走水低砲台が安全に公開できるよう整備を行う。 R2 園路補修工事(フェンス、ダスト舗装、ベンチ) 管理棟新築工事(管理棟・休憩室新築)							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事	工事	0	0	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源(人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 間 の 事 業 費 の 事 業 費 に 関 する 経 費 の 内 訳	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	a 予算現額・支出済額	0	0	21,601	23,500	千円
	活動経費 工事	0	0	21,601	23,500	千円
	その他の経費(上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
	正規職員	0.0	0.0	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員(フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員(パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	3,361	3,327	千円
総経費(a + b)	0	0	24,962	26,827	千円	



活動①(重要な項目)に係る令和元年度の変更点	特になし	活動①(重要な項目)に係る令和2年度の変更点	特になし
------------------------	------	------------------------	------

活動実績と総経費の推移の分析(増減理由等)	R2 園路補修工事(フェンス、ダスト舗装、ベンチ) 管理棟新築工事(管理棟・休憩室新築)
-----------------------	--

今後の事業の方向性	R2整備完了、R3からルートミュージアムのサテライト施設として一般公開。
-----------	--------------------------------------

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6
事務事業名	貝山地下壕整備事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

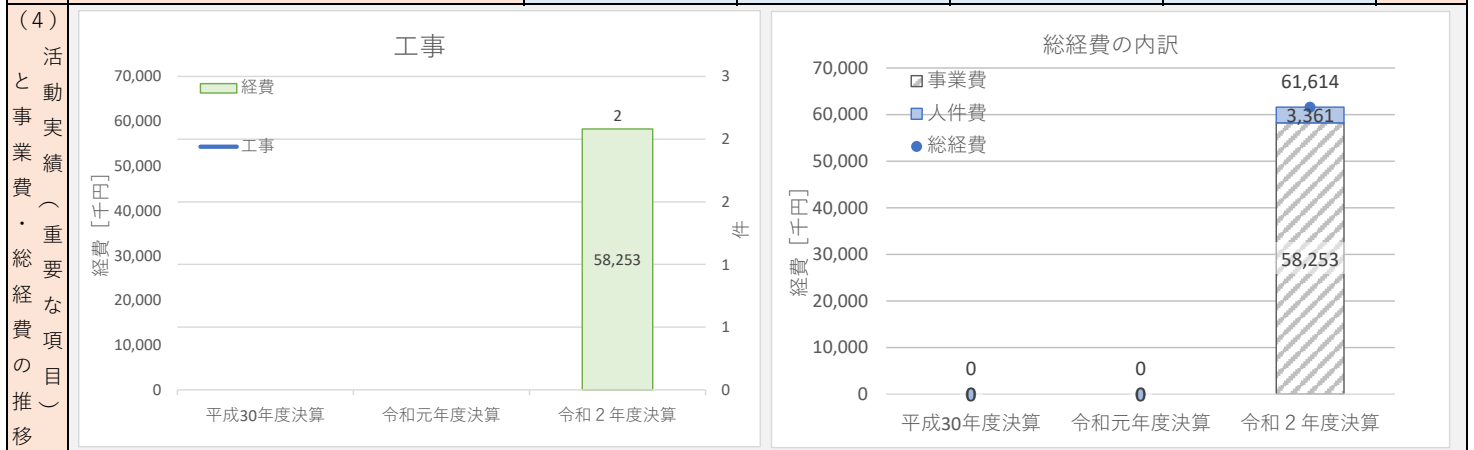
実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和2年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	歴史遺産の活用促進						
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進						
目標	「ルートミュージアム」の拠点として整備し、新たな周遊ルートの整備による集客の促進を図る							
目標達成に必要なこと	隣接地権者および観光協会との合意形成、補助金の取得							
具体的な事業内容	観光資源として貝山地下壕を活用するために、地下壕が安全に公開できるよう整備を行う。 R2 落石対策工事 通信・電気設備工事							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事	工事	0	0	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1 年 間 の 事 業 費 の 事 業 執 行 に 要 す る 資 源	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	a 予算現額・支出済額	0	0	58,253	60,600	千円
	活動経費 工事	0	0	58,253	60,600	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
	正規職員	0.0	0.0	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	3,361	3,327	千円
総経費 (a + b)	0	0	61,614	63,927	千円	



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	R2 落石対策工事 通信・電気設備工事		
今後の事業の方向性	R2整備完了、R3からルートミュージアムのサテライト施設として一般公開。		

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6
事務事業名	公園施設適正配置計画策定事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

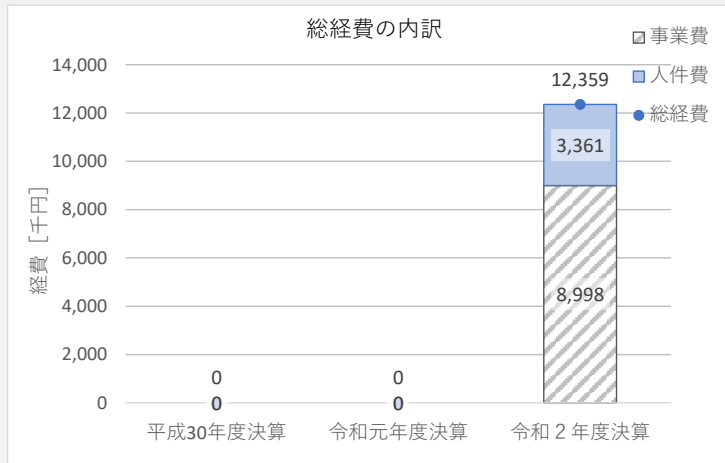
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	今や誰もが公園を身近に感じることができるようになったが、公園施設のマンネリ化に伴う公園の魅力の低下や公園施設の老朽化に伴う維持・管理の低下など新たな課題が浮き彫りになってきた。						分野別計画
具体的な事業内容	①公園の機能・役割を明確にする②公園の配置及び整備に対する明確な基準を設ける③公園の管理運営の方針が定まっていないこれらの課題を解決するため、現状とニーズを把握し、これからの時代に合った公園の機能・役割、施設の配置やその維持管理についての目標・基準づくりを行うとともに、その具体的な方策を検討することで、公園のあるべき姿を追求した本市の特色を打ち出した公園の整備方針を策定する。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業経営資源に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
人件費	事業費：a 予算現額・支出済額	0	0	8,998	10,000	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.0	0.0	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	3,361	3,327	千円
	総経費（a + b）	0	0	12,359	13,327	千円

(3)



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
	特になし	特になし	公園の利用実態調査 公園のニーズ調査 都市公園の整備・管理の方針(案)作成

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	令和2年度から公園施設適正配置計画策定事業を実施したため。
今後の事業の方向性	令和3年度に「横須賀市都市公園の整備・管理の方針」策定 令和4年度から「公園配置・機能の適正化事業」として、地域ニーズに応えた公園づくりを目指す。

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6
事務事業名	神明第2公園施設改修事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

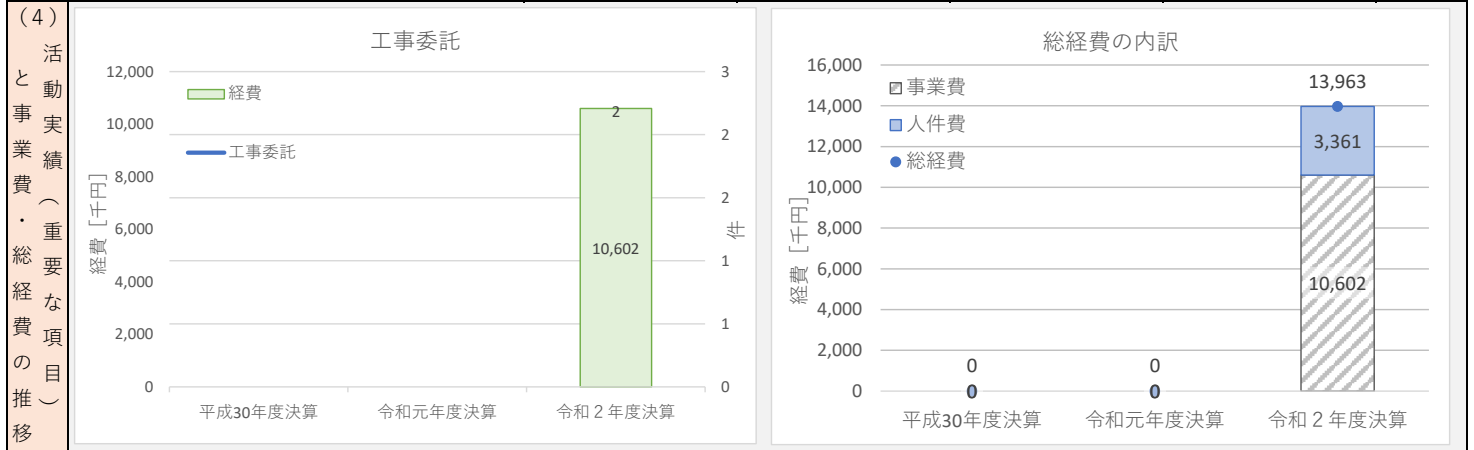
実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興 整備・充実					分野別計画	
	中柱	出産・子育て環境の充実						
	小柱	④体験・遊びの場の充実						
目標	新市立病院の建設に伴い、公園機能の移転のために神明第2公園の改修を行い、利用者に快適な公園を提供する							
目標達成に必要なこと	地元及び公園利用者との合意形成							
具体的な事業内容	市立うわまち病院が神明公園へ移転することに伴い、公園機能の一部を神明第2公園へ移転させるために施設の改修を行う。 R2 公園測量業務 公園広場改修実施設計業務							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 工事委託	工事委託	0	0	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	0	0	10,602	10,615
事業費	活動経費 工事委託	0	0	10,602	10,615	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.0	0.0	0.4	0.4	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	3,361	3,327	千円
経営執行費	総経費 (a + b)	0	0	13,963	13,942	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	R2 公園測量業務 公園広場改修実施設計業務		
今後の事業の方向性	令和3年度、グラウンド整備、倉庫新設を行い、事業完了予定。		

令和3年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	49	項目番号	6ほか
事務事業名	久里浜1丁目公園グラウンドほか整備事業								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

(1) 事務事業の概要

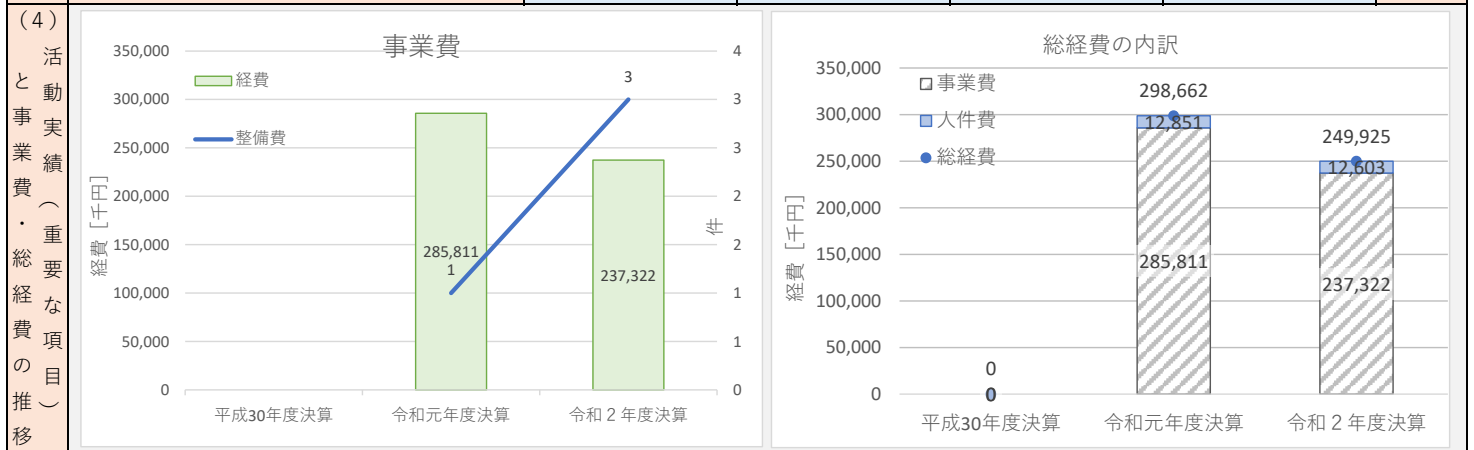
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	都市公園法							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進						
	小柱	⑤久里浜地域のスポーツを核としたまちづくり						
目標	スポーツを核としたまちづくりを推進し、市外からの集客の促進、地域の活性化を図る。							
目標達成に必要なこと	市民がプロスポーツと触れ合う機会を充実させる。誇りや愛着を持てる環境を充実させる。							
具体的な事業内容	久里浜1丁目公園管理用建物その他新築工事実施設計業務委託 公園用地取得 久里浜1丁目公園廃棄物(汚泥)分析調査業務 内川1丁目地内廃棄物(汚泥)分析調査業務							

(2) 主な事業の活動実績

目標を達成するために行った活動又は活動の効果 (重要な項目1つ)	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
① 整備に向けた準備	0	0	1	3	件
その他の活動実績	活動(指標)名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
② 0	0	0	0	0	0
③ 0	0	0	0	0	0

(3) 事業に対する経営資源 (人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります)

1年間の事業費	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
		a 予算現額・支出済額	0	285,811	237,322	259,585
事業費	活動経費	0	285,811	237,322	259,585	千円
	その他の経費 (上記の主な活動①以外の経費)	0	0	0	0	千円
人件費	正規職員	0.0	1.5	1.5	1.5	人
	会計年度任用職員 (フルタイム)	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員 (パートタイム)	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	12,851	12,603	12,477	千円
経営執行費	総経費 (a + b)	0	298,662	249,925	272,062	千円



活動① (重要な項目) に係る令和元年度の変更点	特になし	活動① (重要な項目) に係る令和2年度の変更点	特になし
活動実績と総経費の推移の分析 (増減理由等)	公園整備に向けて必要な調査、手続きを順次実施している。		
今後の事業の方向性	令和4年2月 久里浜1丁目第2公園供用開始 令和4年10月 久里浜1丁目公園 一部供用開始 令和5年5月 久里浜1丁目公園 全面供用開始		

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	51	項目番号	7(1)
事務事業名	一般事務費								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

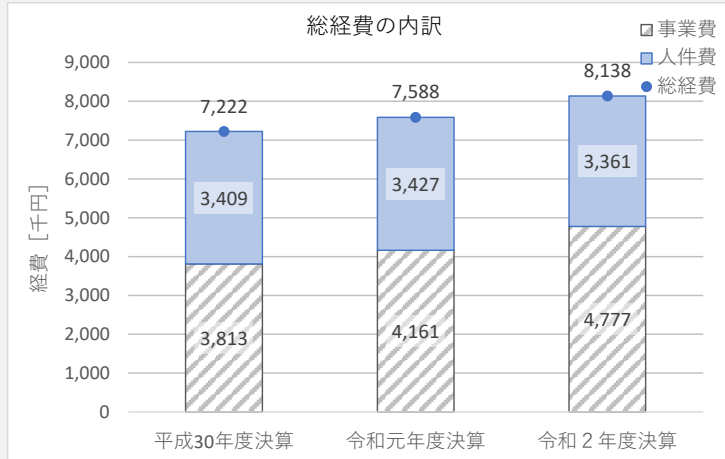
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令								
事業目的	公園建設事業を円滑に進めるための一般事務費 ・研修・講習会・協議会・期成同盟会の負担金						分野別計画	
具体的な事業内容	公園整備業務にかかる事業執行に際しての一般事務							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人件数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	3,813	4,161	4,777	5,561	千円
人件費：b	3,409	3,427	3,361	3,327	千円
総経費(a + b)	7,222	7,588	8,138	8,888	千円
正規職員（再任用職員を含む）	0.4	0.4	0.4	0.4	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円

(3)



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
	<ul style="list-style-type: none"> 公園整備業務にかかる事業執行に際しての一般事務費 全国都市公園整備促進協議会負担金 三浦半島国営公園設置促進期成同盟会負担金 公園緑地講習会負担金 都市公園等における「遊具の日常点検講習会」負担金 行政施策講習会負担金 	<ul style="list-style-type: none"> 公園整備業務にかかる事業執行に際しての一般事務費 全国都市公園整備促進協議会負担金 三浦半島国営公園設置促進期成同盟会負担金 公園緑地講習会負担金 都市公園等における「遊具の日常点検講習会」負担金 行政施策講習会負担金 	<ul style="list-style-type: none"> 全国都市公園整備促進協議会負担金 三浦半島国営公園設置促進期成同盟会負担金 公園緑地講習会負担金 都市公園等における「遊具の日常点検講習会」負担金 行政施策講習会負担金

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）
 工事設計に伴う材料等の価格調査を行う土木資材等価格調査業務委託において、調査費用算出方法の見直しがあったため増加した。

今後の事業の方向性
 公園建設事業をより一層円滑に進める。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	12	項	2	目	4	説明資料	53	項目番号	1
事務事業名	公園災害復旧事業								所管部課名	環境政策部 公園管理課		

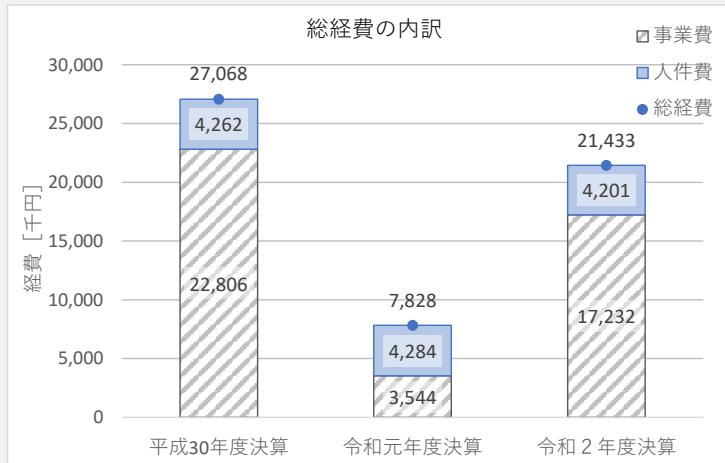
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	公園の法面崩落等の災害に対応する。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託による施設修理、倒木処理、崩落土運搬等 ・その他事務費 						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定的人员数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	22,806	3,544	17,232	17,252	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	0.5	0.5	0.5	0.5	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	4,262	4,284	4,201	4,159	千円
総経費（a + b）	27,068	7,828	21,433	21,411	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨による崩落度処理2件、倒木処理1件 ・台風被害による倒木処理および施設復旧7件 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風被害による倒木処理2地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨による倒木処理等6件

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

今後の事業の方向性

継続

環境政策部

【特別会計公園墓地事業費】

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計 公園墓地事業	款	1	項	1	目	1	説明資料	5	項目番号	2ほか
事務事業名	公園墓地管理事業費								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

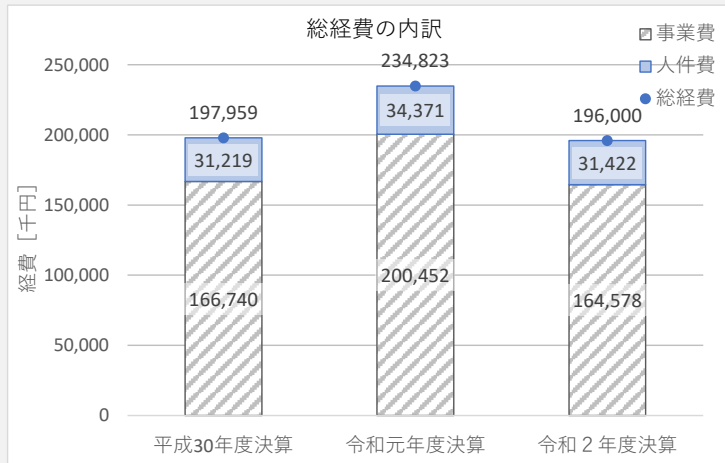
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	公園墓地の適正な管理運営を行う。					分野別計画	
具体的な事業内容	公園墓地の効率的な管理運営及び利用者サービスの向上を図るため、指定管理者による管理を行っている。 また、老朽化の進んだ施設等の改修工事を行っている。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
経営資源	事業費：a 予算現額・支出済額	166,740	200,452	164,578	227,274	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	3.9	3.9	3.9	3.9	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	1,322	960	1,624	1,625	千円
	b 人件費	31,219	34,371	31,422	31,165	千円
	総経費（a + b）	197,959	234,823	196,000	258,439	千円

(3)



活動実績と総経費の推移	平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
(1) 公園墓地の使用許可件数（休憩所使用許可を含む）	1,338件 （墓地使用許可 440、休憩所使用許可 898）	959件 （墓地使用許可 81、休憩所使用許可 878）	588件 （墓地使用許可 366、休憩所使用許可 222）
(2) 墓地の各種届出等の受付件数	3,669件	3,746件	3,595件
(3) 管理工事件数	4件	4件	2件

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

使用許可件数は、平成30年・令和2年は期限後合祀型合葬墓の一般募集があったため多くなっている。
令和元年の総経費が増えたのは、台風被害の復旧工事費用によるもの。
令和2年度に休憩所の使用が少ないのは、感染防止対策と屋根改修工事により使用を制限したため。

今後の事業の方向性

各種届出の件数は、一般募集や改修工事に影響されることなく安定している。
指定管理者による墓地管理を継続し、利用者サービスの向上を図るとともに、安定的な運営を目指す。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計 公園墓地事業	款	1	項	1	目	1	説明資料	8	項目番号	3
事務事業名	公園墓地基金積立金								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

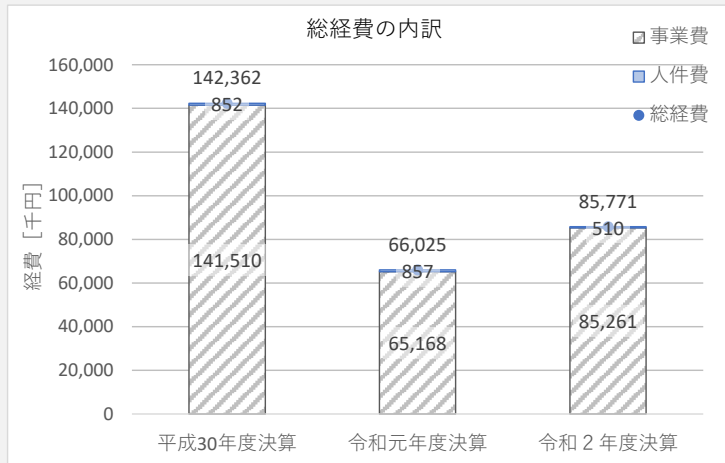
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	公園墓地の施設老朽化による大規模修繕や災害被害などに備えて基金を積み立てる。					分野別計画	
具体的な事業内容	補欠充当、新規募集等による墓地の使用料収入と、基金の運用利子を積み立てる。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
事業費：a 予算現額・支出済額	141,510	65,168	85,261	85,568	千円
人件費					
正規職員（再任用職員を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
b 人件費	852	857	510	510	千円
総経費（a + b）	142,362	66,025	85,771	86,078	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
次のとおり積み立てを行った。 (1) 補欠充当に伴う使用料 104 区画 (2) 墓所変更に伴う使用料 34 体 (3) 期限後合祀型合葬墓募集に伴う使用料 525 体 (4) 基金運用利子	次のとおり積み立てを行った。 (1) 補欠充当に伴う使用料 75 区画 (2) 墓所変更に伴う使用料 11 体 (3) 基金運用利子	次のとおり積み立てを行った。 (1) 補欠充当に伴う使用料 37 区画 (2) 墓所変更に伴う使用料 12 体 (3) 期限後合祀型合葬墓募集に伴う使用料 543 体 (4) 基金運用利子

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）

平成20年度募集時の補欠者への充当連絡であり、かなりの時間が経過しているため辞退するケースが増えている。期限後合祀型合葬墓の募集を隔年に行っていること、補欠充当における使用者の減が基金への積立額に影響している。

今後の事業の方向性

期限後合祀型合葬墓の募集は令和2年度が最終であり、補欠充当も令和3年度で終了の予定で進めている。返還されて空き墓地となっている区画について検討を行い、安定した基金への積み立てを目指す。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計 公園墓地事業	款	1	項	2	目	1	説明資料	9	項目番号	1
事務事業名	公債費利子								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

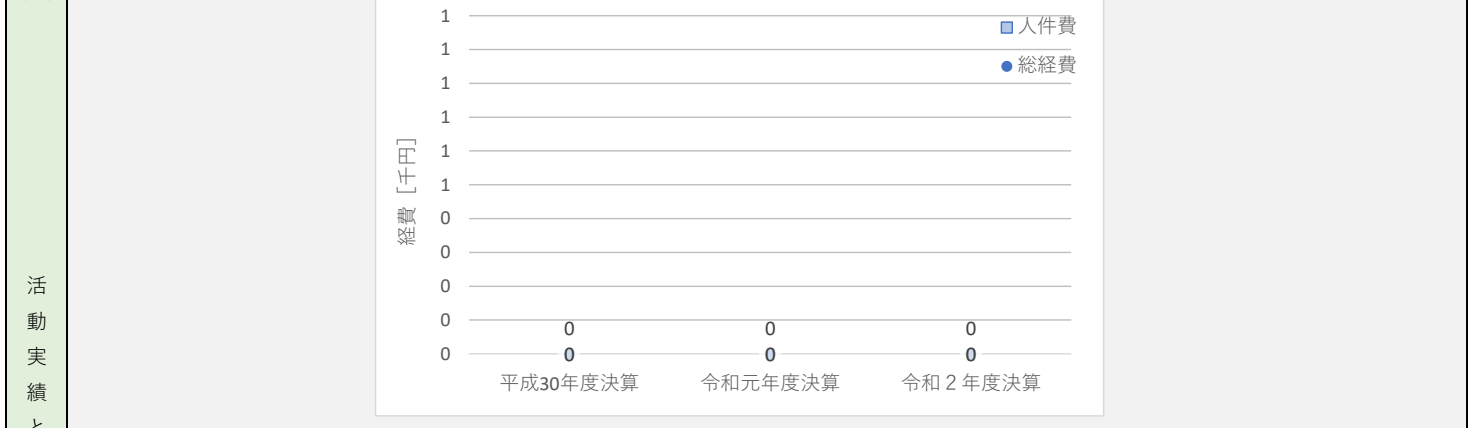
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	新年度早々に多額の支出を必要とする場合に、必要な額を金融機関から一時借り入れる際の利子						分野別計画	
具体的な事業内容	地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入限度額を800万円と定め、この借入れに対する利子を見込み予算計上する。							

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定の人員数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業執行に かかる経営資源	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
	事業費	a 予算現額・支出済額	0	0	0	30
人件費	正規職員（再任用職員を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	0	0	千円
	総経費 (a + b)	0	0	0	30	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
借入れがないため、特になし。	借入れがないため、特になし。	借入れがないため、特になし。

活動実績と総経費の推移の分析
(増減理由等)

公園墓地管理事業の財源となる墓地手数料(管理料)は、4月末を納期としている。
納付前の新年度早々に多額の支出を必要とする場合に備えて準備をしておくことで、安定した運営を目指す。

今後の事業の方向性

不測の事態への備えであるため、継続していく。

令和3年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計 公園墓地事業	款	2	項	1	目	1	説明資料	11	項目番号	1
事務事業名	予備費								所管部課名	環境政策部 公園建設課		

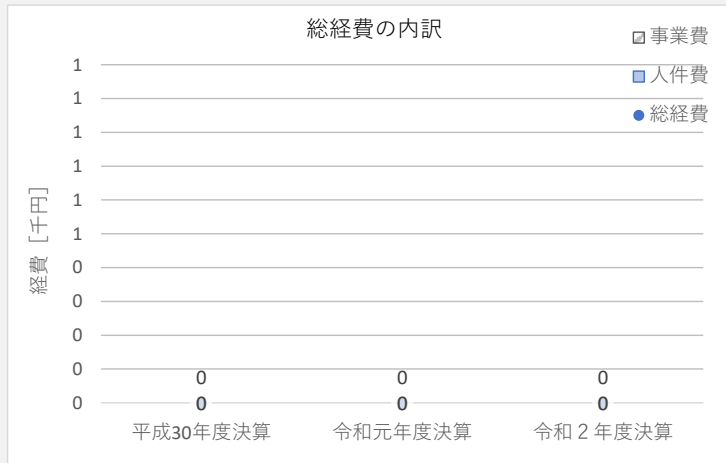
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	予算編成時には予測しがたい事案に対応するための予備費					分野別計画	
具体的な事業内容	年度途中の不測の事態や支出に充てるため、用途を特定しないで予算計上するものである。						

(2) 事業に対する経営資源（人件費について、想定的人员数、平均給与を使って試算しているため、実際の決算額と異なります）

1年間の事業経営資源に	区分	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	参考：令和2年度予算	単位
人件費	事業費：a 予算現額・支出済額	0	0	0	73,522	千円
	正規職員（再任用職員を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム）	0	0	0	0	千円
	会計年度任用職員（パートタイム）	0	0	0	0	千円
	b 人件費	0	0	0	0	千円
	総経費（a + b）	0	0	0	73,522	千円

(3)



活動実績と総経費の推移

平成30年度の活動実績	令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績
特になし。	特になし。	特になし。

活動実績と総経費の推移の分析（増減理由等）	特になし
-----------------------	------

今後の事業の方向性	不測の事態への備えであるため、継続していく。
-----------	------------------------